

令和2年度 県南広域振興圏施策評価結果調書

重点施策	頁
1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります	1
2 快適で安全・安心な生活環境をつくります	7
3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります	13
4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます	17
5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します	20
6 地域の魅力の発信による交流を広げます	23
7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります	27
8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます	29
9 企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます	31
10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します	36

令和3年8月

施策評価結果調書の構成

県南広域振興圏地域振興プラン(2019～2022)に基づき、「振興施策の基本方向」と、これを推進するための目標となる「重点指標」を示すとともに、「重点指標の動きに対するコメント」を掲載しています。

次に、特に重点的に取り組む「重点施策」ごとに、取組の「基本方向」や、現状と課題を踏まえた「基本方向の実現に向けた取組」を示しています。

「令和2年度を取組状況・評価及び令和3年度を取組方針」では、地域振興プランを基に、10の重点施策ごとに、「具体的推進方策」、「取組内容(実施計画)」、「令和2年度を取組状況」、「令和2年度の評価」、「令和3年度を取組方針」について掲載しています。

振興施策の基本方向

I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域

- 1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります
- 2 快適で安全・安心な生活環境をつくります
- 3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります

II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域

- 4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます
- 5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します

III 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域

- 6 地域の魅力の発信による交流を広げます
- 7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります
- 8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます

IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域

- 9 企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます
- 10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します

圏域の振興施策の 基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域
重点施策	1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくりま

〔基本方向〕

（健康づくり）

住民が、こころと体の健康づくりに積極的に取り組むことができるよう、市町など関係機関と連携し、健康に関する知識の普及を図るとともに、職場や地域における心の不調の早期発見、生活習慣病の発症予防や重症化（再発）予防につながる取組を促進します。

また、若年期からの適正な食生活習慣と運動習慣の定着に向けて、健康づくりに関する良好な環境づくりを推進します。

スポーツを通じた健康増進を図るため、関係機関・団体と連携し、スポーツ活動への参加に向けた取組を推進します。

（医療）

地域医療構想の実現に向けて、病床機能の分化と連携や医療と介護の連携体制の整備などに取り組むとともに、妊産婦が安心して出産できるよう、周産期医療における医療機関間の診療連携体制の充実強化を図ります。

自然災害や新興感染症などに円滑に対応していくため、健康危機に対する管理体制を関係機関・団体と構築します。

（福祉）

高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、市町等と連携し、地域の実情に応じた医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを提供する体制づくりを支援します。

地域における障がい者の自立支援を進めるため、市町の障がい者地域自立支援協議会などのネットワークを生かし、障がい福祉サービス基盤の整備が着実に進むよう支援します。

また、就労継続支援事業者と農業者等との連携による、障がい者それぞれの特性に応じた多様な作業の確保や工賃向上に係る取組を支援します。

（子育て）

地域で結婚、子育てをするという希望がかなえられるよう、関係機関と連携し、結婚希望者に対する出会いの機会の提供等の取組を支援します。

また、地域の中で安心して子育てができるよう、市町と連携し、保育サービスの拡充等の取組を支援するほか、地域の企業等による子育てしやすい環境づくりを促進するなど、社会全体で出産、子育てを支援する地域づくりを推進します。

重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
①がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数〔10万人当たり〕（人）〔男性〕	目標		288.4 (2018)	281.1 (2019)	273.9 (2020)	266.9 (2021)	【集計中】 2019年（2018年）の実績値は306.0人となっています。 事業所への出前講座や健康経営の普及の取組等を進めていきます。
	実績	297.4 (2016)	306.0 (2018)	集計中	—	—	
①がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数〔10万人当たり〕（人）〔女性〕	目標		141.6 (2018)	137.8 (2019)	134.0 (2020)	130.3 (2021)	【集計中】 2019年（2018年）の実績値は173.9人となっています。 事業所への出前講座や健康経営の普及の取組等を進めていきます。
	実績	152.4 (2016)	173.9 (2018)	集計中	—	—	
②自殺者数〔10万人当たり〕（人）	目標		20.5 (2018)	19.5 (2019)	18.5 (2020)	17.5 (2021)	【集計中】 2019年（2018年）の実績値は22.1人となっています。 メンタルヘルスに関わる人材育成の研修やネットワーク構築の取組を進めていきます。
	実績	21.5	22.1 (2018)	集計中	—	—	
③訪問診療を受けた患者数（人口10万人当たり：レセプト件数ベース）（件）	目標		3,018.1 (2018)	3,028.1 (2019)	3,037.9 (2020)	3,047.9 (2021)	【達成】 2020年（2019年）の実績値は3143.9件となっています。 地域の実情に応じた医療、介護等を提供する体制を支援していきます。
	実績	2,998.3 (2016)	3,159.3 (2018)	3,143.9 (2019)	—	—	
④要介護・要支援の認定を受けていない高齢者の割合（全国を100とした水準）（%）	目標		98.23	98.26	98.29	98.32	【達成】 2020年の実績値は98.87%となっています。 高齢者が社会的役割を持ち、生きがいづくりや介護予防に向けた取組を促進していきます。
	実績	98.17	98.59	98.87	—	—	
⑤グループホームの利用者数（人）	目標		680	700	720	740	【集計中】（令和3年12月末確定見込み） 2019年の実績値は653人となっています。 福祉サービスの充実に向けた地域自立支援協議会の取組支援に取り組んでいきます。
	実績	640	653	集計中	—	—	
⑥「いわて子育てにやさしい企業等」認証件数（累計）	目標		79	99	119	139	【概ね達成】 2020年の実績値は95件となっています。 企業訪問や会議等にて認証制度の普及推進に取り組んでいきます。
	実績	39	69	95	—	—	

〔基本方向の実現に向けた取組〕

- ① 事業所等と連携したこころと体の健康づくりの推進
- ② 地域と連携したスポーツへの参加機運の醸成
- ③ 地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進
- ④ 地域包括ケアシステムの構築
- ⑤ 障がい者の自立活動の支援
- ⑥ 「i-サポ奥州」の利用促進などを通じた結婚支援対策の推進
- ⑦ 子育てしやすい環境の整備

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																																																																								
<p>①事業所等と連携したところと体の健康づくりの推進</p>	<p>(1) 生活習慣病の発症予防やメンタルヘルスケアの向上に向けた取組の推進 ○栄養成分表示及び受動喫煙防止の普及啓発 ○働き盛りを対象とした出前講座の開催</p> <p>(2) 特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に向けた取組の支援 ○事業主・職場安全衛生担当者研修会の開催 ○出前講座による普及啓発</p> <p>(3) 若年期からの健康づくりに関する良好な環境づくりの推進 ○保育園・学校等への出前講座の実施 ○特定給食施設への立入検査、個別指導の実施 84か所</p> <p>(4) 自殺対策に向けた総合的な取組の推進 ○自殺対策推進の連絡会及び研修会の開催 連絡会21回、研修会11回 ○事業所出前講座の開催及びゲートキーパー養成</p>	<p>・栄養成分表示店登録事業の紹介：集団47回、個別485件 ※新規登録 10件 ・受動喫煙防止対策の周知、相談・指導：周知46回、個別相談・指導481件（受動喫煙対策専門員による飲食店巡回指導延290件を含む） ・事業所出前講座を期間短縮で実施：7月開始12月まで実施（11回 387人）、講座中止時は資料提供に変更（7回 151人） 《中止》 ・SNS等による健康づくりの情報発信 ・家庭血圧測定体験会、血圧指導実態調査</p> <p>・「職場の好事例集」の配布：350事業所 ・血管年齢計を活用した健康講座を期間短縮で実施 1回(8/7参加6人) 《中止》 ・事業主・職場安全衛生担当者研修会</p> <p>・保育園・学校への出前講座：5回371人 ・歩数計を活用した運動習慣定着事業：保育所2か所×3回（7月、9月、11月） ・特定給食施設への立入検査（書面審査含む）及び個別指導の実施：実84か所、延111か所 ・学校用保健指導媒体作成：2,500枚、24校に配付 ・県南局栄養士による効果的な栄養指導等検討会の開催：3回（9/14、10/28、2/22） 《中止》 ・子どもの肥満予防セミナー ・特定給食施設研修会</p> <p>・自殺対策に係る連絡会を縮小開催：開催7回（書面開催1回含む） 89人<中止9回> ・関係者対象研修会開催：4回71人《中止7回》 ・ゲートキーパー養成を事業所出前講座活用した実施に変更：14回413人、労働基準協会と連携した養成研修は中止</p>	<p>【指標の状況】 ・岩手県脳卒中予防県民会議の会員数（団体）〔累計〕達成</p> <table border="1" data-bbox="1519 226 2089 338"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>108</td> <td>113</td> <td>118</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①事業所への出前講座の実施や「職場の好事例集」を還元したことにより、目標を達成した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施時期の短縮等を行ったが、目標を達成することができた。 ②生活習慣病の発症や重症化を予防するための取組について、事業所等と共働しながら、出前講座の効果的な実施や普及啓発に取り組む必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・肥満傾向にある子供の割合（小学5年生）（%）集計中</p> <table border="1" data-bbox="1519 835 2089 947"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>11.92</td> <td>11.38</td> <td>10.84</td> <td>10.29</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13.00</td> <td>13.49</td> <td>集計中</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・肥満傾向にある子供の割合（中学2年生）（%）集計中</p> <table border="1" data-bbox="1519 1024 2089 1136"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>10.90</td> <td>10.72</td> <td>10.54</td> <td>10.34</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11.26</td> <td>11.85</td> <td>集計中</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校等への出前講座の時期・方法を変更して実施したが、目標の達成は困難な見込みである。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による学校一斉休校や外出自粛のため、運動の機会の減少や食生活の変化が生じ、児童の肥満の増加が課題である。特定給食施設への立入・指導について、適正な栄養管理の実施に向けて指導の標準化と評価をしながら取り組む必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・メンタルヘルス人材育成のための研修会等の参加者数（人）〔累計〕概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1519 1619 2089 1730"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>1,461</td> <td>1,961</td> <td>2,461</td> <td>2,961</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>461</td> <td>1,425</td> <td>1,838</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、関係者会議や人事育成の研修は中止または縮小して実施したが、目標は概ね達成となった。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による仕事や生活への影響を踏まえ、相談窓口の普及啓発及び対応できる人材の育成に取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		108	113	118	123	実績	98	111	123	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		11.92	11.38	10.84	10.29	実績	13.00	13.49	集計中	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		10.90	10.72	10.54	10.34	実績	11.26	11.85	集計中	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,461	1,961	2,461	2,961	実績	461	1,425	1,838	—	—	<p>・スーパーマーケットと協働し、健康的な食生活実践のための媒体（ポスターや一ロメモ等）を作成・掲示を行う「健康的な食生活の見える化」の実施 ・血管年齢測定器の活用や健康アプリの紹介など効果的かつ実践的な健康づくり出前講座による「健康度見える化事業」の実施</p> <p>・特定給食施設への立入検査、個別指導の実施 ・児童・生徒を対象とした健康的な生活習慣のための出前講座や保育園を対象とした歩数計活用による運動定着事業を実施</p> <p>・自殺対策推進のための連絡会の開催、及び人材育成として関係機関・団体や事業所等の職員対象にした研修の開催 ・事業所を対象に心の健康づくりに係る出前講座の開催及びゲートキーパー養成</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		108	113	118	123																																																																							
実績	98	111	123	—	—																																																																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		11.92	11.38	10.84	10.29																																																																							
実績	13.00	13.49	集計中	—	—																																																																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		10.90	10.72	10.54	10.34																																																																							
実績	11.26	11.85	集計中	—	—																																																																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		1,461	1,961	2,461	2,961																																																																							
実績	461	1,425	1,838	—	—																																																																							

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>②地域と連携したスポーツへの参加機運の醸成</p>	<p>(1) 市町と連携したスポーツを通じた健康づくり情報発信によるスポーツへの参加機運の醸成 ○管内のスポーツ施設やイベント、健康づくり情報を定期的に発信（南いわてスポーツカレンダーの定期発行：年4回）</p>	<p>・南いわてスポーツカレンダー発行によるスポーツ施設や健康づくり情報発信（2回発行：8月特別号、10-12月号を各市町、体育協会、スポーツクラブ等へ毎号約1,000枚配布） ・サイクリング・ウォーキングコースの利用促進（リーフレットを管内観光案内所、レンタサイクル等へ計500枚配布）</p>	<p>【指標の状況】 ・スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）（%） 概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1469 262 2033 394"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>63.5 (2018)</td> <td>64.0 (2019)</td> <td>64.5 (2020)</td> <td>65.0 (2021)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>62.0</td> <td>59.1</td> <td>61.0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの中止が相次ぎ、スポーツへの参加機会が減少したことから、目標は概ね達成となった。 ②感染防止に配慮したスポーツ資源や健康づくり情報を市町及び関係機関と連携して情報発信を行い、参加機運を醸成する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		63.5 (2018)	64.0 (2019)	64.5 (2020)	65.0 (2021)	実績	62.0	59.1	61.0	—	—	<p>・管内のスポーツイベントや健康づくり情報を市町及び保健福祉環境部と連携して情報発信 ・サイクリング・ウォーキングリーフレットの掲載情報の充実（レンタサイクル情報等の拡充）</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		63.5 (2018)	64.0 (2019)	64.5 (2020)	65.0 (2021)																	
実績	62.0	59.1	61.0	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																																																						
<p>③地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進</p>	<p>(1) 一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される仕組みづくり ○各圏域での地域医療連携会議の開催</p> <p>(2) 大規模災害を想定した災害医療訓練の実施 ○災害医療訓練の実施</p> <p>(3) 新興感染症に対応するため、医療機関の受入れ等の体制整備や実地訓練などを実施 ○感染症対策会議の開催 ○感染症実地訓練等の実施</p> <p>○医療職・介護職・保育職・福祉職進路選択セミナーの実施</p>	<p>・地域医療連携会議 〈奥州〉 第1回会議(9/24 参加機関23) 第2回会議(2/12 参加機関22) 〈花巻〉 書面開催(10/16) 病院部会・市町部会(書面12/23) 〈一関〉 書面開催(12/17)</p> <p>・災害医療訓練の実施 新型コロナウイルス感染症のため、一関のみ所内連絡訓練を実施(6/9)、両磐地域災害医療訓練(11/17)</p> <p>・患者発生時の対応及び医療(検査・診療等)体制の整備に係る関係機関会議、打合せを実施(22回) ・地域外来・検査センター設置に係る訓練を実施(10回) ・関係者(医療、消防、介護、庁内職員等)を対象にしたPPE着脱訓練や研修を実施(49回) ・新型コロナウイルス感染症患者搬送業務研修や訓練を実施(13回) ・新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関の指定に係る現地確認・指導(120医療機関)</p> <p>・一関で医療職セミナー(7/29)、福祉職セミナー(8/12)を開催。本局、花巻では受講対象となる高校生のニーズ調査を実施。花巻の医療職セミナーは中止 ・介護職・保育職進路選択セミナーを1月に開催(本局1/7介護9人保育21人、花巻1/5介護5人保育6人、一関1/8介護13人保育9人)</p>	<p>【指標の状況】 ・地域医療連携会議等の参加機関数(機関) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1469 262 2033 367"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>93</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①一部の会議を書面開催し、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した形で実施したことから、目標を達成することができた。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した形で地域医療連携会議を開催していく必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・災害医療実地訓練等の実施回数(回) やや遅れ</p> <table border="1" data-bbox="1469 724 2033 829"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、災害医療実地訓練を中止したため、目標を下回った。 ②新型コロナウイルス感染症を含む感染症発生の動向に応じた災害医療訓練等を継続する必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・感染症対策実地訓練など実施回数(回) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1469 1144 2033 1249"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>72</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、医療、消防、介護等職員を対象に防護衣着脱訓練等を実施したことにより、目標を大きく上回った。 ②医療や社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の対応・対策のため、感染対策確認及び実地訓練に継続して取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		102	102	102	102	実績	93	103	103	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3	3	3	3	実績	3	3	2	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3	3	3	3	実績	3	3	72	—	—	<p>・地域医療連携会議 〈奥州〉病院長等事前調整会議(7月中旬) 第1回会議(9月中旬) 第2回会議(2月予定) 〈花巻〉2回程度会議開催予定 〈一関〉2回程度開催予定 ・周産期医療圏連絡会議(年度後半予定)</p> <p>・災害医療訓練 〈共通〉年1回開催予定</p> <p>・新型コロナウイルス感染症を含む感染症発生の動向に応じた医療体制や関係者の連携に係る連絡会議の開催(随時) ・医療、消防、介護等職員を対象に感染症実地訓練等の実施(随時) ・新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関の指定に係る現地確認・指導の実施(随時)</p> <p>・医療職セミナーを引き続き開催予定 ・地経費事業として介護職・保育職魅力発見事業(Fukushi・Café)の実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		102	102	102	102																																																					
実績	93	103	103	—	—																																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		3	3	3	3																																																					
実績	3	3	2	—	—																																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		3	3	3	3																																																					
実績	3	3	72	—	—																																																					

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>④地域包括ケアシステムの構築</p>	<p>(1) 地域包括ケアシステムの構築や、情報通信技術（ICT）の活用による医療機関や介護事業所との情報共有及び相互連携に向けた取組を支援します。 ○市町が主催する介護保険運営協議会等への出席 第8期介護保険事業計画策定協議（委員として出席 奥州市、金ケ崎町、一関市） ○管内地域包括ケア担当者連絡調整会議の開催（1月）</p>	<p>・第8期介護保険事業計画策定について委員として参画し協議、助言を実施 〈奥州市〉5/28、8/24、10/29、11/18、1/13、2/26 〈金ケ崎町〉8/20（書面表決）、10/23、11/18、1/13 〈一関市〉7/28、12/18 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため管内地域包括ケア担当者連絡協議会を書面開催にて実施（2月）</p>	<p>【指標の状況】 ・居宅サービス・地域密着型サービスの利用割合（%） 集計中</p> <table border="1" data-bbox="1448 254 2050 363"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>65.2</td> <td>65.8</td> <td>66.4</td> <td>67.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>64.4</td> <td>64.8</td> <td>(64.7)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値、（ ）内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面開催となった協議会等もあったが、目標を概ね達成する見込みである。 ②地域包括ケアシステムの構築に向けて、各市町の状況に合わせた支援と連携の取組みを進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		65.2	65.8	66.4	67.0	実績	64.4	64.8	(64.7)	—	—	<p>・各市町の介護保険運営協議会、在宅医療介護連携推進協議会等へ参画し、必要な助言指導を実施 ・管内地域包括ケア担当者連絡協議会の開催</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		65.2	65.8	66.4	67.0																	
実績	64.4	64.8	(64.7)	—	—																	
<p>⑤障がい者の自立活動の支援</p>	<p>(1) 障がい者への理解促進 ○障がい者が中尊寺・月見坂を車いすで登る体験会の実施 ○障がい者理解出前授業の実施</p> <p>(2) 市町の自立支援協議会等の取組支援 ○各市町の自立支援協議会等への出席</p> <p>(3) 障がい者の経済的自立(工賃向上)への支援 ○共同販売会・販路拡大等の取組支援 ・庁舎内での事業所販売会の開催支援 ・ハート購入の促進</p> <p>○農福連携の推進 ・マッチング支援 ・農作業見学会、農作業実証の開催 ・マッチング成立後の活動状況検証 ・事業者、農業者向け研修会の開催 ・取組報告会の開催 ・農福連携関係者会議の開催 ・実務担当者打合せ会出席</p>	<p>・体験会については、コロナ禍により講演会開催に変更。平泉町社会福祉協議会業務委託(本局) ・障がい者への理解促進事業講演会開催10/29 ・障がい者理解出前授業（一関）を10校で実施（昨年度実績9校）</p> <p>・各市町の自立支援協議会に出席し、協議、助言を実施 ・奥州市：親会（2回）、その他4部会(27回) ・金ケ崎町：親会（5回）就労部会（1回） ・花巻市：親会（2回）、就労部会（2回） ・北上市：親会（3回）、就労部会・WG（6回） ・遠野市：親会（2回）、就労部会（3回） ・西和賀町：親会（3回） ・一関地区：親会（3回）、運営委員会（4回）、その他3部会（11回） ※一関地区（一関市、平泉町合同開催）</p> <p>・合庁内での事業所によるパン類等販売会支援。庁内放送による職員へのお知らせ ・各所属でのハート購入の取組</p> <p>(本局) ・農福契約令和2年度8件（全11件） ・農作業体験見学会の開催（2回） ・農作業実証、契約の立合、今年度の振り返り及び来年度の協議（随時） ・第1回農福連携関係者会議（8/25） ・実務担当者打合せ会（毎月） ・農業者向研修会開催（12/7） (一関) ・一関地域における農業力確保に向けた連絡会議への参画（7/7）</p>	<p>【指標の状況】 ・障がい者就労継続支援事業所（B型）の工賃（円/月） (令和3年10月確定見込み) 集計中</p> <table border="1" data-bbox="1448 709 2036 819"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>20,495</td> <td>20,889</td> <td>21,284</td> <td>21,677</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>19,707</td> <td>19,845</td> <td>集計中</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容や開催方法の変更、開催中止となる取組があったことから、目標の達成は困難な見込みである。 ②障がい者の自立活動の支援に向けて、引き続き障がい者への理解を促進するとともに、市町の自立支援協議会等の取組への支援や、障がい者の経済的自立への支援を進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		20,495	20,889	21,284	21,677	実績	19,707	19,845	集計中	—	—	<p>・障がい者が中尊寺・月見坂を車いすで登る体験会の主体となる平泉町社会福祉協議会を支援 ・障がい者理解出前授業（一関）</p> <p>・引き続き各市町の自立支援協議会に参画し、各市町の状況に応じて必要な助言をする ・第6期障がい福祉計画（令和3年度～令和5年度）において各市町の状況に応じた助言</p> <p>・合庁内での事業所による販売会の支援 ・ハート購入の促進について会議等でのPR</p> <p>・農作業実証、契約の立合、今年度の振り返り及び来年度の協議 ・農福連携等連絡会設置 ・取組報告会の開催 ・農政部等との打合せ（毎月）</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		20,495	20,889	21,284	21,677																	
実績	19,707	19,845	集計中	—	—																	

令和2年度の取組状況・評価及び令和3年度の取組方針

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>⑥「i-サポ奥州」の利用促進などを通じた結婚支援対策の推進</p>	<p>(1) 「i-サポ」の利用促進に向けた周知 ○ポスター、リーフレットによる周知</p> <p>(2) 市町や関係団体との連絡会議等の開催 ○県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議の開催</p> <p>(3) 「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充 ○リーフレット等の配付等による周知</p>	<p>・研修会等でのポスター、リーフレット等による周知(随時)</p> <p>《中止》</p> <p>・県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議(12/16)</p> <p>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR 「いわて結婚応援の店」69件(県245件) 制度周知 本局177件、花巻676件、一関272件、計1,125件</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・i-サポ入会登録者数(人)〔累計〕 概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1448 226 2012 331"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>728</td> <td>878</td> <td>1028</td> <td>1178</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>428</td> <td>671</td> <td>755</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】</p> <p>①リーフレットの配架等による制度周知により、目標は概ね達成となった。</p> <p>②制度周知による「i-サポ」の利用促進及び「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充の取組をより一層推進していく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		728	878	1028	1178	実績	428	671	755	—	—	<p>・研修会等でのポスター、リーフレット等による周知(随時)</p> <p>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配付及びPR(毎月)</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		728	878	1028	1178																	
実績	428	671	755	—	—																	
<p>⑦子育てしやすい環境の整備</p>	<p>(1) 市町・保育事業者への助言・支援 ○市町児童福祉(子育て支援)担当者連絡会議の開催(本局) ○各市町が主催する会議への出席</p> <p>(2) 「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大及び「いわて子育て応援の店」の協賛店の拡充 ○企業訪問による認証勧奨、制度周知 ○リーフレット等の配付等による周知</p>	<p>・市町児童福祉担当者連絡会議7/15開催 8市町、県子ども子育て支援室、岩手県保育士・保育所支援センター、花巻保健福祉環境センター出席</p> <p>・奥州市子ども・子育て会議出席(2回)</p> <p>・「いわて子育てにやさしい企業等」認証累計95件、新規認証数:計19件 企業訪問:本局20件、花巻30件、一関0件、計50件 制度周知:本局622件、花巻676件、一関272件、計1,570件</p> <p>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR(毎月)</p> <p>・介護保険事業者集団指導会、障がい福祉事業者集団指導会でのチラシ配布及び説明</p> <p>・「いわて子育て応援の店」781件(県1,840件) 制度周知:本局177件、花巻676件、一関272件、計1,125件</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・「いわて子育て応援の店」延べ協賛店舗数(件)〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1448 688 2012 793"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>743</td> <td>763</td> <td>783</td> <td>803</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>703</td> <td>748</td> <td>781</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】</p> <p>①企業訪問やリーフレットの配架等による制度周知を行い、目標を達成することができた。</p> <p>②今後も企業訪問等による「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大及び「いわて子育て応援の店」の協賛店の拡充の取組を進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		743	763	783	803	実績	703	748	781	—	—	<p>・企業訪問(若者女性協働推進室と同行)(毎月)</p> <p>・食品衛生講習会におけるリーフレット等の配付及びPR(毎月)</p> <p>・研修会等での制度周知活動実施</p> <p>・更新時期の企業への案内通知</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		743	763	783	803																	
実績	703	748	781	—	—																	

圏域の振興施策の 基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域						
重点施策	2 快適で安全・安心な生活環境をつくります						
<p>[基本方向] (環境保全等)</p> <p>事業者における地球温暖化防止の取組支援や、官民連携による省エネや節電等のライフスタイルの意識啓発に取り組みます。 廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用のいわゆる3Rを促進するとともに、産業廃棄物の適正処理指導と不法投棄対策の取組を進めます。 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、行政、NPO、事業者、住民等の協働連携による生物多様性の保全や環境保全の取組を推進します。</p> <p>住民の健康と自然環境保全の基本である水環境の保全に取り組みます。 捕獲の担い手の育成や確保に努め、有害捕獲を一層強化し、野生鳥獣による自然生態系や農林業及び人身への被害防止対策を推進します。 人と動物が共生する社会の実現に向けて動物愛護思想の普及に努め、動物の生命尊重の機運醸成の取組を推進します。 食品を介した健康被害の発生の予防に努め、食の安全と安心の取組を推進します。(社会資本整備等) 災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路の防災機能の強化と計画的な維持管理を推進します。 激甚化、頻発化する洪水や土砂災害から生命や財産を守るため、人口や資産が集積している区間や近年の被害実績のある区間のハード対策を重点的に推進します。また、施設では守りきれない洪水や火山噴火等に対し、警戒・避難体制等のソフト施策の充実強化を推進します。 冬期間の安全で円滑な通行を確保するため、除雪を考慮した道路整備や、通学中の児童や高齢者の安全を確保するため、歩道の整備を推進します。 人口減少等の影響を考慮しながら、地域の実情に合った污水处理施設の整備を推進します。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
①公共用水域の環境基準BOD（生物化学的酸素要求量）達成率（%）	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	達成 2020年の実績値は100.0%となっています。 引き続き、工場等への立入指導や排水の検査を実施し、事業場排水の適正化を図ること等により、優れた自然環境等の保全に向けた取組を推進します。
	実績	100.0	100.0	100.0	—	—	
②産業廃棄物適正処理率（%）	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	概ね達成 2020年の実績値は99.3%となっています。 引き続き、産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導や、警察等関係機関と連携した合同パトロールや情報共有などにより、適正処理の推進に取り組みます。
	実績	99.5	99.6	99.3	—	—	
③ニホンジカの捕獲数（累計）（頭）	目標		10,582	13,582	16,582	19,582	集計中（令和3年12月末確定見込み） 2019年の実績値は、13,158頭となっています。 引き続き、市町等関係機関と連携し、ニホンジカなどの有害鳥獣の駆除等の広域的な取組やツキノワグマの人里への出没原因の検証等に基づく駆除対策の実施等により、野生鳥獣等の適正な保護管理に取り組みます。
	実績	4,582	13,158	集計中	—	—	
④食中毒患者数（人口10万人当たり）（人）	目標		14.9	14.2	13.6	13.0	達成 2020年の実績値は2.5人となっています。 引き続き、関係機関との協働による衛生指導や普及啓発、食品事業者に対するHACCPの考え方に基づく衛生管理の普及等により、食の安全と安心の取組を推進します。
	実績	16.3	1.5	2.5	—	—	
⑤緊急輸送道路の整備延長（累計）（m）	目標		2,000	9,470	14,880	15,400	達成 2020年の実績値は13,250mとなっています。 計画通りに事業を実施することができました。
	実績	—	4,220	13,250	—	—	
⑥河川整備延長（累計）（m）	目標		2,000	4,000	5,800	6,200	達成 2020年の実績値は6,460mとなっています。 計画通りに事業を実施することができました。
	実績	—	4,390	6,460	—	—	
<p>[基本方向の実現に向けた取組]</p> <p>① 地球温暖化防止に向けた取組の支援 ② 循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進 ③ 優れた自然環境等の保全・保護活動の推進 ④ 野生鳥獣等の適正な保護管理 ⑤ 人と動物が共生する社会の実現に向けた取組 ⑥ 食の安全と安心の取組の推進 ⑦ 災害に強い道路ネットワークの構築 ⑧ ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策 ⑨ 安全な通行、歩行者の安全確保のための道路整備の推進 ⑩ 衛生的で快適な生活環境の確保</p>							

令和2年度を取組状況・評価及び令和3年度を取組方針

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																		
①地球温暖化防止に向けた取組の支援	<p>(1) 多量排出事業者の地球温暖化防止取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度地球温暖化対策実施状況報告・対策計画の提出 ○エコスタッフ養成セミナーの開催 ○いわて地球環境にやさしい事業所の認定 <p>(2) 県民や事業者、行政が連携した地域ぐるみの省エネ活動等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブ講習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコスタッフ養成セミナーを開催(7/31、22名受講) ・いわて地球環境にやさしい事業所を認定 認定数：17事業所(更新17事業所、新規なし) ・エコドライブ講習を実施(7/31、22名受講) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコスタッフ養成者数(人)〔累計〕 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1481 239 2050 348"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>407</td> <td>447</td> <td>487</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>329</td> <td>403</td> <td>425</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①セミナー周知先企業が新型コロナウイルス感染症への予防対策に重点を置いたため、目標は概ね達成となった。</p> <p>②次年度の開催に当たっては、より多数の企業の参加に向け、本庁主管課及び主催団体(資源循環協会)と連携を図っていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		407	447	487	527	実績	329	403	425	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・エコスタッフ養成セミナーの開催やいわて地球環境にやさしい事業所の認定に取り組み、多量排出事業者の地球温暖化防止の取組を支援 ・エコドライブ講習の実施等により、県民や事業者、行政が連携した地域ぐるみの省エネ活動等を推進
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		407	447	487	527																	
実績	329	403	425	—	—																	
②循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進	<p>(1) 廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着及び環境に配慮した事業活動促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物排出事業者等説明会の開催(10月以降) ○クリーンいわて行動の日の実施(5月) <p>(2) 不法投棄対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物合同パトロールの実施 ○産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年実施している連携会議・パトロールは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で年度後半に延期 ・事業者への適正処理指導を実施(6,231件)《中止》 ・クリーンいわて行動の日は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 ・廃棄物合同パトロールの実施 ・産業廃棄物排出業者説明会を11月16日～20日にウェブセミナー形式で実施 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出事業者等説明会への参加企業数(社)〔累計〕 やや遅れ <table border="1" data-bbox="1481 701 2050 810"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>2,008</td> <td>2,738</td> <td>3,468</td> <td>4,198</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>836</td> <td>1,769</td> <td>2,056</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①一部の対象企業がウェブセミナー形式での実施に対応できなかったことも一因となり、目標を下回った。</p> <p>②次年度の開催に当たっては、より多数の企業の参加に向け、本庁主管課及び主催団体(資源循環協会)と連携を図っていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2,008	2,738	3,468	4,198	実績	836	1,769	2,056	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンいわて行動の日の実施や産業廃棄物排出事業者等説明会の開催等により、廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着や環境に配慮した事業活動を促進 ・廃棄物合同パトロールの実施や産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導の実施等により、不法投棄対策を推進
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		2,008	2,738	3,468	4,198																	
実績	836	1,769	2,056	—	—																	
③優れた自然環境等の保全・保護活動の推進	<p>(1) 多様な主体が連携した地域全体での環境保全活動の活性化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水生生物調査等の支援(夏期) ○早池峰地域等の環境保全対策の推進 ○河川等の環境保全に向けた取組の推進(流域協議会の開催) <p>(2) 工場等への立入指導等による事業場排水の適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○採水検査及び立入指導の実施 ○公共用水域及び地下水の水質測定の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物調査の講師派遣は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で依頼なし(機材貸出しは18か所実施) ・早池峰環境保全キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。移入種駆除(6/18、8/26)、登山道パトロール(5/28、7/16、9/30)、仮設トイレ設置(6/10)は実施 ・流域協議会各団体の年次計画聴取(本局・一関、5月)、連絡会議書面開催(花巻、7月)など、連携推進に向けた情報共有等を実施 ・採水検査及び立入指導37回(計画値38回) ・公共用水域測定378回(計画値379回) ・地下水測定60回(計画値60回) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水基準適用の事業場(製造業)における排水基準適合率(%) 達成 <table border="1" data-bbox="1481 1163 2050 1272"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①一時排水基準不適合となった事業所があったが、適切な改善指導の結果、目標を達成することができた。</p> <p>②引き続き、水生生物調査等の支援や早池峰地域等の環境保全対策の推進に取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		100	100	100	100	実績	100	100	100	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水生生物調査等の支援や早池峰地域等の環境保全対策の推進に取り組むほか、河川等の環境保全に向け流域協議会を開催する等、多様な主体が連携した地域全体での環境保全活動の活性化に向けた取組を実施 ・工場等への採水検査及び立入指導を実施し事業場排水の適正化を推進するとともに、公共用水域及び地下水の水質測定を実施
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		100	100	100	100																	
実績	100	100	100	—	—																	

令和2年度取組状況・評価及び令和3年度取組方針

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度取組方針																		
④野生鳥獣等の適正な保護管理	<p>(1) 関係機関との情報交換会の開催等 ○ツキノワグマ管理協議会の開催 ○県南地域野生鳥獣被害防止対策連絡会への出席</p> <p>(2) 新規狩猟免許所得希望者の拡充 ○普及啓発用チラシによる普及啓発 ○新規免許取得希望者向けセミナーの開催</p> <p>(3) モデル地域におけるツキノワグマ防除対策の推進 ○北上市のモデル地域における防除対策実施の効果等検証 ○モデル地域住民へのクマ防除対策への啓発</p>	<p>・ツキノワグマ管理協議会を書面にて開催(本局:5月開催、花巻、一関は書面開催検討中) ・県南地域野生鳥獣被害防止対策連絡会出席(9/9)</p> <p>・管内の農協等にチラシ配布、周知を実施(4~5月、JAいわて花巻23,000部、JAいわて平泉500部、各保福センター(本局500部 花巻・一関各500部))</p> <p>・センサーカメラを用いたツキノワグマ出没状況調査を実施(4月下旬~12月上旬) ・ツキノワグマ防除対策出前授業を実施(和賀西小学校 8/31、笠松小学校9/17) ・ツキノワグマ勉強会in横川目4区(11/1)《中止》 ・新規免許取得希望者向けセミナーは新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止</p>	<p>【指標の状況】 ・新規狩猟免許取得件数(件)〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1484 241 2047 346"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>316</td> <td>416</td> <td>516</td> <td>616</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>116</td> <td>352</td> <td>52</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①新規免許取得希望者向けセミナーは新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止したが、新規狩猟免許所得希望者の拡充に向けた普及啓発用チラシの作成・配布等の取組により、目標を達成することができた。 ②関係機関との連携と狩猟免許の取得を推進し、野生鳥獣等の保護管理に継続して取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		316	416	516	616	実績	116	352	52	-	-	<p>・引き続き、ツキノワグマ管理協議会の開催等により関係機関との情報共有等を実施</p> <p>・農政部、林務部と連携し、野生鳥獣被害防止に向けたチラシの作成やセミナー開催等を実施</p> <p>・地域住民参加によるクマ被害防止のためのモニタリング調査やワークショップの開催等により、住民参加型のクマ被害防止対策を実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		316	416	516	616																	
実績	116	352	52	-	-																	
⑤人と動物が共生する社会の実現に向けた取組	<p>(1) 猫の譲渡の推進 ○猫の譲渡会の開催 ○猫の譲渡希望者の募集・登録</p> <p>(2) 動物愛護思想の普及啓発 ○犬、猫の飼い主への指導 ○動物取扱業者や特定動物飼養者への指導</p>	<p>・譲渡会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で17回のみ開催(昨年度実績39回) ・HP掲載やコミュニティーFMの活用による譲渡希望者募集や啓発を実施(本局:6~8月、番組13回、CM47回、花巻:9/20~26、番組1回、CM26回、一関:CM32回)</p> <p>・譲渡希望者の登録64人(昨年度末28人) ・動物取扱業者(ペットショップ石川)への指導を実施</p>	<p>【指標の状況】 ・猫の譲渡会の開催回数(回)〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1484 924 2047 1029"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>20</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>49</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①HP掲載やコミュニティーFMの活用による譲渡希望者募集や猫の適正飼養に関する啓発を実施し、目標を達成することができた。 ②猫の譲渡会の開催及び動物愛護思想の普及啓発に継続して取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		20	30	40	50	実績	-	49	70	-	-	<p>・県南広域局本局及び花巻、一関各センターが連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した猫の譲渡会を開催するほか、HPやSNS、コミュニティーFMの活用等による猫の譲渡希望者募集やミルクボランティアの普及啓発に取り組み、保護猫の譲渡を推進</p> <p>・シンポジウム「県南ねこ会議」の開催や動物いのちの授業を開催する等、適正飼養の推進及び動物愛護思想の普及啓発を推進</p> <p>・動物愛護管理法の改正施行(6月)を踏まえ、不適正な動物取扱業者に対し定期的な立入を実施する等、指導強化を実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		20	30	40	50																	
実績	-	49	70	-	-																	
⑥食の安全と安心の取組の推進	<p>(1) 関係機関との協働による営業者への指導及びHACCPに基づく衛生管理の普及 ○食品営業施設への立入監視及びHACCP衛生管理計画策定状況の確認 ○収去検査の実施 ○食中毒予防に向けた事業者指導の実施</p>	<p>・食品事業者への立入検査及びHACCP衛生管理計画策定状況の確認を実施(6,414件) ・収去検査は、4~5月は休止し、6月以降に実施(100件) ・許可更新時における責任者講習等の実施(月1回程度)</p>	<p>【指標の状況】 ・HACCP衛生管理計画を策定している食品営業施設の割合(%) 概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1484 1396 2047 1501"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>10</td> <td>40</td> <td>70</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>39</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①食品衛生協会等と連携して食品事業者への立入検査やHACCP衛生管理計画策定ワークショップの開催等に取り組み、目標は概ね達成となった。 ②食品取扱施設の立入検査等による食中毒の予防、HACCPに沿った衛生管理の制度化の徹底に継続して取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		10	40	70	100	実績	-	9	39	-	-	<p>・HACCPに沿った衛生管理の制度化について一層の普及啓発を図るため、引き続き立入検査による指導を実施するほか、県事業によるワークショップの開催、責任者講習等の実施及び実務者講習の際の演習を実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		10	40	70	100																	
実績	-	9	39	-	-																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																																																						
<p>⑦災害に強い道路ネットワークの構築</p>	<p>(1) 橋梁の耐震補強や法面防災点検等の結果を踏まえた対策など、緊急輸送道路の防災機能強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道107号 日高見橋（北上市） ・国道283号 小岩橋（遠野市） ・国道346号 二股橋（一関市） ・国道397号 小谷木橋（奥州市） ・花巻停車場花巻温泉郷線 落合橋（花巻市） <p>において事業を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全箇所において事業実施 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路等における耐震化完了橋梁数（橋）〔累計〕 達成 <table border="1" data-bbox="1484 241 2047 346"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①計画通りに事業を実施し、目標を達成することができた。 令和2年度完了：国道283号小岩橋、国道346号二股橋</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2	5	6	7	実績	—	3	5	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理 国道107号 日高見橋（北上市） 国道397号 小谷木橋（奥州市） 花巻停車場花巻温泉郷線 落合橋（花巻市） 																																				
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		2	5	6	7																																																					
実績	—	3	5	—	—																																																					
<p>⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策</p>	<p>(1) 水位周知河川の指定を推進 ○遠野市小鳥瀬川の指定</p> <p>(2) 洪水浸水想定区域の指定を推進 ○令和4年度における花巻市稗貫川の指定に向けた関係者との調整・準備</p> <p>(3) 土砂災害警戒区域の指定を推進 ○管内8市町のうち花巻市、遠野市、一関市、奥州市（他4市町は指定完了）において、各土木センター等が関係機関と調整を図り、土砂災害警戒区域を指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小鳥瀬川における改良復旧事業を令和2年度内の完了に向けて事業実施 水位周知河川としての指定は、完了時期を踏まえ、令和2年度から令和3年度に見直し ・令和4年度の指定に向けた関係者との調整・準備 ・花巻市36箇所、遠野市319箇所指定（全箇所指定完了） ・奥州市122箇所、一関市190箇所指定（残284箇所） 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県管理河川における水位周知河川の指定河川数（河川）〔累計〕 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1484 714 2047 819"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>13</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①小鳥瀬川改良復旧事業の進捗状況に合わせて指定時期を見直したことにより、今年度指定はなかったが、目標は概ね達成となった。</p> <p>②予定時期の指定に向けて関係者との調整等を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県管理河川における想定最大規模の降雨に対応した洪水浸水想定区域の指定河川数（河川）〔累計〕 達成 <table border="1" data-bbox="1484 1155 2047 1260"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①今年度指定なし。</p> <p>②令和4年度の指定に向けて引き続き関係者との調整を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域等指定箇所数（箇所）〔累計〕 達成 <table border="1" data-bbox="1484 1575 2047 1680"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>2,270</td> <td>2,480</td> <td>2,700</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,840</td> <td>2,700</td> <td>3,367</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①適切な進捗管理により、計画以上に指定することができ目標を達成することができた。 令和2年完了市町：花巻市、遠野市</p> <p>②土砂災害警戒区域の指定に向けて関係市と連携を図り住民説明等を行っていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		13	14	14	14	実績	7	13	13	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		7	7	7	8	実績	1	7	7	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2,270	2,480	2,700	2,900	実績	1,840	2,700	3,367	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の指定に向けた、関係者との調整 ・令和4年度の指定に向けて、引き続き浸水想定区域図の作成や関係者との調整の実施 ・令和3年度中の指定完了を目指し、一関市、奥州市において、土砂災害警戒区域の指定に向けた住民説明を実施 ・今後の指定箇所数及び住民説明方法 県南局管内 計 284箇所 *一関市（千厩管内）〔55箇所〕：資料郵送方式 *奥州市〔229箇所〕：従来型の説明会
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		13	14	14	14																																																					
実績	7	13	13	—	—																																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		7	7	7	8																																																					
実績	1	7	7	—	—																																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		2,270	2,480	2,700	2,900																																																					
実績	1,840	2,700	3,367	—	—																																																					

令和2年度を取組状況・評価及び令和3年度を取組方針

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針
<p>⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策</p>	<p>(4) 自然災害や鳥インフルエンザ等の発生に備え、関係機関等と連携した取組を推進する。 ○県本部等主催訓練等の実施</p>	<p>(4) 自然災害・鳥インフルエンザ等 ○自然災害 ・非常連絡訓練実施(4/24) ・令和2年度岩手県総合防災訓練(会場:一関市・平泉町)は、図上訓練に参加(8/30) ・令和3年度岩手県総合防災訓練参加機関打合せ(1/15、3/23(web)) ・災害警戒本部地方支部設置(～3/30 奥州14回、花巻15回、一関11回) ○鳥インフルエンザ等 【3地方支部合同実施訓練等】 ・宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所等の担当者連絡先確認(担当:奥州支部) ・現地拠点施設設置・運営訓練(実動訓練)(令和2年度新規)は中止(担当:奥州支部) ・支援員集合施設現地確認(11/19奥州支部の施設を確認) ・日本建設機械レンタル協会訪問依頼(11/26)(担当:奥州支部) ・基礎研修(担当:奥州支部)(12/1) ・机上訓練(担当:一関支部)(12/23) ・机上訓練検証結果報告(3/22) ・総務調整班内研修(奥州支部)(2/16～18) 【県本部等主催訓練等】 ・令和2年度鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班研修(県民くらしの安全課主催)(9/16～10/16書面開催で実施) ・防疫対応実地訓練(建設業協会奥州支部主催)(11/5) 【支援員集合施設候補地の選定】 ・北上市(候補地3か所選定) ・一関市(市内2か所の施設下見)(3/11)</p>	<p>【評価及び今後の取組の方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、自然災害に備えた取組を概ね計画どおりに実施した。鳥インフルエンザ等では、3地方支部合同の実施訓練等のうち、現地拠点施設設置・運営訓練(実動訓練)を中止した以外は、概ね計画どおりに実施した。 ②自然災害や鳥インフルエンザ等の発生に備え、発生時における迅速・円滑な対応を実現するため、関係機関(市町、業界団体、近隣県等)との連携強化を図っていく必要がある。</p>	<p>・令和3年度岩手県総合防災訓練の準備対応(会場:北上市・西和賀町) 【県民くらしの安全課主催】 ・家畜防疫作業支援班研修(書面開催予定) 【3地方支部合同主催】 ・基礎研修(担当:一関支部) ・机上訓練(担当:花巻支部) ・現地拠点施設設置・運営訓練(担当:奥州支部) 【各地方支部主催】 ・支援員集合施設候補地確認(選定、レイアウト決定含む) ・各班による勉強会や研修の実施 【岩手県建設業協会奥州支部との訓練】 ・防疫対応実地訓練(訓練内容等は今後協議予定) 【日本建設機械レンタル協会訪問】 ・連携確認(担当:奥州支部) 【県際自治体との連絡先確認】 ・宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所等の担当者 と連絡先確認(担当:奥州支部)</p>
	<p>(5) 火山防災対策に係る関係機関との情報共有や、連携強化を推進する。 ○関係機関等と現地調査等の実施</p>	<p>(5) 火山防災対策 ・栗駒山現地調査(5月中止、10/2実施) ・栗駒山火山ガス調査(10/13) ・一関市防災会議(12/9 書面会議) ・岩手県の火山活動に関する検討会傍聴(12/17) ・栗駒山火山防災協議会幹事会(2/9)</p>	<p>【評価及び今後の取組の方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、概ね計画どおりに実施した。 ②火山防災対策に係る関係機関との情報共有や連携強化を継続して推進する必要がある。</p>	<p>・栗駒山火山防災協議会への参加 ・栗駒山火山防災協議会による火山ガスの学術的評価及び登山道の安全対策等の検討に参画 ・復興防災部が実施する栗駒山現地調査等への参加</p>

令和2年度の取組状況・評価及び令和3年度の取組方針

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>⑨安全な通行、歩行者の安全確保のための道路整備の推進</p>	<p>(1) 通学路を中心とした歩道整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道342号 瑞山（一関市） ・花巻大曲線 志戸平（花巻市） ・盛岡和賀線 藤根（北上市） ・北上和賀線 鬼柳（北上市） ・岩明岩谷堂線 藤里（奥州市） ・新城馬口沢線 古城（奥州市） ・胆沢金ヶ崎線 永沢（金ヶ崎町） ・久田笹長根線 六原（金ヶ崎町） ・若柳花泉線 油島（一関市） <p>において事業を実施</p>	<p>・全箇所において事業実施中</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・通学路（小学校）における歩道設置延長（m）〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1478 239 2050 348"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>400</td> <td>900</td> <td>1,180</td> <td>3,880</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>600</td> <td>2,300</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①適切な進捗管理及び事業予算の確保により、計画以上に設置することができ、目標を達成することができた。 令和2年度供用：国道342号 瑞山510m、胆沢金ヶ崎線 永沢50m、新城馬口沢線40m、花巻大曲線 志戸平470m、北上和賀線 鬼柳240m、岩明岩谷堂線 藤里330m、盛岡和賀線 藤根60m 計1,700m</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		400	900	1,180	3,880	実績	—	600	2,300	—	—	<p>・事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理</p> <p>花巻大曲線 志戸平（花巻市） 岩明岩谷堂線 藤里（奥州市）</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		400	900	1,180	3,880																	
実績	—	600	2,300	—	—																	
<p>⑩衛生的で快適な生活環境の確保</p>	<p>(1) いわて汚水処理ビジョン2017 に基づく汚水処理施設整備の推進</p> <p>○管内8市町において、公共下水道事業や農業集落排水事業を実施</p>	<p>・全箇所において事業実施中</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・汚水処理人口普及率（%） 集計中</p> <table border="1" data-bbox="1478 804 2050 913"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>81.7</td> <td>83.0</td> <td>84.4</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>79.6</td> <td>82.6</td> <td>集計中</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①集計中</p> <p>②普及率の向上に向け、市町と連携して汚水処理施設の整備・普及に取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		81.7	83.0	84.4	86.0	実績	79.6	82.6	集計中	—	—	<p>・普及率の向上に向けた、市町と連携した汚水処理施設の整備・普及の取組</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		81.7	83.0	84.4	86.0																	
実績	79.6	82.6	集計中	—	—																	

圏域の振興施策の基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域						
重点施策	3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります						
〔基本方向〕 国際リニアコライダー（ILC）実現を契機とした地域の国際化を見据え、ILC関係者が地域コミュニティの一員として安心して暮らせるよう、受入態勢整備を進めます。 魅力と活力ある持続可能な地域社会の形成を進めるため、多様な主体が活躍する機会の提供等により、県民一人ひとりが地域の担い手として活躍できるよう取り組むとともに、住民やNPO法人等の多様な主体による地域コミュニティづくりや、市町と県との連携又は市町間の連携などによる広域的な課題への取組を進めます。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
県外からの移住・定住者数 （市町報告値・県内移動除く）（人）	目標		180	200	220	240	集計中 2019年の実績値は222人となっています。 今後もセミナー等の開催により、移住定住者の増加を目指し、市町と連携して取り組みます。
	実績	146	222	集計中	—	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 国際リニアコライダー（ILC）関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備 ② 持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援 ③ 移住・定住の促進							

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																		
<p>①国際リニアコライダー（ILC）関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備</p>	<p>(1) 外国人研究者とその家族などの受入態勢整備 ○医療通訳者養成研修会の開催</p> <p>(2) 国際リニアコライダー（ILC）実現後の多文化共生に関する、住民への理解促進 ○管内市町のKEKへの視察（コロナのため中止） ○国立天文台水沢との図書館合同展示等の実施 ○管内市町との意見交換会の開催</p> <p>(3) 住民への国際リニアコライダー（ILC）の普及啓発 ○中学生向けILCセミナーの開催</p>	<p>・医療通訳の養成研修の実施（1/17、24） ・高エネルギー加速器研究機構視察は中止 ・国立天文台水沢との合同展示（12/2～3/7、管内8市町の図書館等において実施） ・図書館企画展示の関連イベント（講演会・ワークショップ）の実施（1/23、一関市 2/6、花巻市） ・書面による意見交換会の実施（2/18）</p> <p>・ILCセミナーの実施（8/26、遠野東中学校）</p>	<p>【指標の状況】 ・医療通訳研修会修了者数（人）〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1478 210 2053 331"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">66</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら研修会を開催したことにより、目標を達成することができた。 ②管内の機運醸成・普及啓発の取組について、引き続き本庁及び市町と役割や事業内容を整理しながら取り組む必要がある。また、希少言語（ベトナム語、タガログ語）の受講者はおらず、今後とも受講者の確保に配慮しつつ進める必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	40	50	60	60	実績	32	48	66	—	—	<p>・医療通訳者養成研修会の開催</p> <p>・国立天文台水沢との図書館合同展示、講演会・ワークショップ等の実施 ・管内市町との情報共有・意見交換の実施</p> <p>・中学生向けILCセミナーの開催</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標	/	40	50	60	60																	
実績	32	48	66	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>②持続的な地域 コミュニティ づくりと人材 育成・活躍支援</p>	<p>(1) 住民等による自主的な地域課題解決の取組や、市町や県の区域を越えた広域的な課題解決の取組の推進 ○首長懇談会の開催 ○副首長懇談会の開催 ○政策・企画部課長会議の開催 ○政策課題研究会の開催 ○岩手・宮城県際連絡会議の開催</p> <p>(2) 伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出 ○県文化芸術コーディネーター設置による相談、情報収集・発信等への支援 ○若者文化振興事業費補助金による文化芸術活動の支援と機会の創出</p> <p>(3) 市町が実施する地域内交通の利用促進等の取組の支援 ○各市町の地域公共交通会議へ委員として参画 ○地域公共交通に関する担当者会議の開催</p> <p>(4) 住民や地域おこし協力隊などの自主的活動の支援や、関係人口の創出・拡大に向けた取組 ○地域おこし協力隊を対象とした「南いわてプロジェクト創出ラボ」の開催 ○仙台圏在住者(社会人)を対象としたワークショップ「南いわてファンミーティング」の開催 ○仙台圏在住大学生を対象としたワークショップ「わたしと岩手の研究所」の開催</p>	<p>・首長懇談会は局長による首長訪問により実施(12/14～12/22の期間、8市町) ・副首長懇談会(7/13Web会議) ・政策・企画部課長会議(第1回4/16書面、第2回10/23) ・新型コロナウイルス感染症対策に係る管内市町との連携会議(5/28、29) ・政策課題研究会(第1回4/16書面、第2回10/26、第3回2/16) ・岩手・宮城県際連絡会議の開催(12/2)</p> <p>・県文化芸術コーディネーターによる活動支援や新型コロナ対策支援情報の周知 ・文化芸術活動支援ネットワーク会議で新型コロナ対策をテーマとした研修を実施(参加者9/2:18名、9/30:16名 計34名) ・若者文化振興事業費補助金事業(1件)による高校演劇動画のオンライン配信と舞台技術講座と批評講座の実施(動画視聴416回、講座参加40名、11/8で終了)</p> <p>・地域公共交通会議への出席(花巻市6/24、8/24、1/14、遠野市7/17、一関市6/9書面、8/4、11/20、1/29、奥州市6/26、7/31、金ケ崎町7/14、1/21、西和賀町6/18、8/4、10/14PT検討会、2/4、平泉町12/23、2/26、3/25) ・政策課題研究会(第1回4/16書面、第2回10/26、第3回2/16)(再掲)</p> <p>・地域おこし協力隊のニーズ把握を行った上で、情報発信講座及び独立準備講座をオンライン開催 (情報発信講座:9月に全3回、参加者19名 独立準備講座:10月に全3回、参加者13名) ・南いわてファンミーティングをオンライン開催 (11月から12月に全4回、参加者延べ34名) ・わたしと岩手の研究所をオンライン開催 (7月から11月に全11回、参加者13名。プログラム終了後の自主活動として、参加者7名が一関温泉郷に来訪。また、参加者4名が金ケ崎高校で自己分析の講座を実施。)</p>	<p>【指標の状況】 ・地域活性化イベント等による事業創出数(事業/年) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1498 241 2071 336"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①仙台圏在住の大学生を対象としたワークショップ実施の結果、参加した大学生による自主的な活動が事業終了後も行われ、目標を達成することができた。 ②引き続き市町や地域づくり団体、地域外の人材などと連携し、活力ある持続可能な地域社会の形成を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2	2	2	2	実績	—	2	2	—	—	<p>・首長懇談会の開催(5月) ・副首長懇談会の開催(7月) ・政策・企画部課長会議の開催(第1回4月、第2回10月) ・政策課題研究会の開催(第1回10月、第2回1月) ・岩手・宮城県際連絡会議への参画</p> <p>・文化芸術コーディネーター等関係機関と連携した活動支援と情報発信 ・管内の団体や関係機関への新型コロナ対策関連を含む支援情報の提供(補助金等支援制度の周知)</p> <p>・各市町の地域公共交通会議へ委員として参画 ・政策課題研究会の開催(第1回10月、第2回1月)(再掲)</p> <p>・仙台圏在住の学生・社会人を対象としたワークショップの開催</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		2	2	2	2																	
実績	—	2	2	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																		
③移住定住の促進	(1) 市町と連携した県南圏域の魅力の発信 ○U・Iターン相談会における情報提供 (2) 移住者が安心して活躍できる環境の整備 ○情報交換会の開催	・「南いわて暮らしセミナー ～雪国のあったかい話をしよう～」(1/23)を東京での実地開催からオンラインに変更して開催するための調整を実施 ・管内市町等との情報交換会の実施(7/28)	【指標の状況】 ・市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数(人) <table border="1" data-bbox="1501 233 2071 390"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>650</td> <td>950</td> <td>(469)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は2017年の値、()内は速報値 【評価及び今後の取組の方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、セミナーをオンライン開催する等、実施方法を工夫しながら事業を進めたが、目標を下回る見込みである。 ②引き続き圏域での仕事と暮らしの魅力を広く発信し、移住者受入の環境整備を図る必要がある。		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		700	700	700	700	実績	650	950	(469)	—	—	・「南いわて暮らしセミナー」の開催 ・市町等と連携した「情報交換会」の開催
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		700	700	700	700																	
実績	650	950	(469)	—	—																	

圏域の振興施策の基本方向	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域
重点施策	4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます

〔基本方向〕

世界に通用する技術力・競争力を持ったものづくり産業を支える人材の確保・育成のため、北上川流域ものづくりネットワークや大学等の教育機関などと連携し、企業をけん引する能力の高い人材の育成の取組を支援します。

地域企業の競争力強化を図るため、ものづくり産業の技術力の強化やQCD（品質、コスト、納期）水準の向上の取組を支援するとともに、産業の更なる集積を図るため、自動車や半導体関連産業などへの新規参入や取引拡大などの取組を進めます。

新たな産業の形成や生産性の向上を図るため、産学官連携により国際リニアコライダー（ILC）の関連技術や第4次産業革命（IoT等）の新技术を活用した取組を支援します。また、次世代自動車関連の研究開発を図るため、高度技術者の育成の取組を支援します。

南部鉄器等の伝統産業の振興を図るため、若手の経営者や工芸家等の育成や技術の継承、伝統の技術を生かした新商品開発の支援、商品力やブランドなどの「強み」を生かした販売機会の創出やあらゆる機会を利用した魅力の発信に取り組みます。

工業製品等の輸送の利便性を向上させ産業振興を支援するため、工業団地が集積する内陸部と港湾等を結ぶ路線など、物流の基盤となる道路整備を推進します。

重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の製造品出荷額（億円）	目標		13,700 (2018)	14,100 (2019)	14,500 (2020)	14,900 (2021)	達成 2020年（2019年）の実績値は14,602億円となっています。 引き続き、地域企業の技術力向上や人材育成に向けた取組を行います。
	実績	12,910 (2016)	15,306 (2018)	14,602 (2019)	—	—	
東北地域ものづくり関連分野の製造品出荷額における県南地域のシェア（%）	目標		13.5 (2018)	14.0 (2019)	14.5 (2020)	15.0 (2021)	集計中 2019年（2018年）の実績値は13.4%となっています。 引き続き、自動車・半導体関連産業への新規参入や、第4次産業革命（IoT等）の新技术を活かした取組を行います。
	実績	12.6 (2016)	13.4 (2017)	集計中	—	—	

〔基本方向の実現に向けた取組〕

- ① 地域企業の技術力向上及び技術革新を含めた生産性向上の支援
- ② 自動車・半導体関連産業への一層の参入促進及び国際リニアコライダー（ILC）の関連技術や第4次産業革命（IoT等）の新技术を活用した取組の支援
- ③ 伝統産業の魅力発信
- ④ 産業を振興する道路整備の推進

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																		
①地域企業の技術力向上及び技術革新を含めた生産性向上の支援	(1) QCD能力向上等のための研修を実施 ○ものづくり人材育成講座(集合研修)の開催(年間計画17回(14講座)) ○オーダーメイド研修実施(募集枠5社)	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり人材育成講座(集合研修)開催(17回(14講座)) オーダーメイド研修実施(5社) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産管理関連講座受講者数(人) [累計] 達成 <table border="1" data-bbox="1484 210 2047 325"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border: none;"></td> <td>1,600</td> <td>1,800</td> <td>2,000</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,184</td> <td>1,643</td> <td>1,858</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、研修会等生産性向上の取組を実施したことにより、目標を達成することができた。 ②引き続き、ものづくり企業の人材育成について、講座の内容を見直しながら取り組む必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,600	1,800	2,000	2,200	実績	1,184	1,643	1,858	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり人材育成講座(集合研修)開催(11回(11講座)) オーダーメイド研修実施(5社実施)
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		1,600	1,800	2,000	2,200																	
実績	1,184	1,643	1,858	—	—																	
②自動車・半導体関連産業への一層の参入促進及び国際リニアライダー(ILC)の関連技術や第4次産業革命(IoT等)の新技术を活用した取組の支援	<p>(1) 自動車や半導体関連産業などへの新規参入、企業間の取引拡大及び、サプライチェーンの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザーによる企業訪問(指導) ○現場改善・品質管理実践指導 ○ものづくり企業下請法講座の開催(年3回程度) <p>(2) 第4次産業革命(IoT等)の新技术の導入事例の横展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○IoT導入支援セミナー等の開催 ○IT人材とものづくり企業のマッチング支援 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーによる企業訪問(指導): 26社 現場改善・品質管理実践指導: 8社 ものづくり企業下請法講座を開催(第1回8/21、第2回10/21、第3回12/11) 経営課題解決IoT活用セミナーを開催(8/18) ものづくり企業とIT関連企業によるIT技術活用研究会を開催(1/14) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内ものづくり企業の新規受注件数(件) [累計] 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1484 661 2047 777"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border: none;"></td> <td>240</td> <td>275</td> <td>310</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>168</td> <td>226</td> <td>268</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大の影響による移動等の制限がある中、優先度に応じた対応やオンラインの活用など、効率・効果的な訪問指導を実施したことにより、目標は概ね達成となった。 ②現場改善の進捗に合わせた定期的な訪問を計画しつつ、柔軟なスケジューリングを行うなど、感染拡大状況に合わせて取り組む必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		240	275	310	345	実績	168	226	268	—	—	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーによる企業訪問(指導) 現場改善・品質管理実践指導 ものづくり企業下請法講座の開催 経営課題解決IoT活用セミナー等の開催 IT人材とものづくり企業のマッチング支援
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		240	275	310	345																	
実績	168	226	268	—	—																	
③伝統産業の魅力発信	<p>(1) 「いわて県南エリア伝統工芸協会」の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援 <p>(2) 「オープンファクトリー五感市」の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、情報発信を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「動画編集・ライブ配信についての勉強会」を開催(9/11) 「販路拡大、商品開発に向けた経営マネジメント研修」を開催(12/9) ON-LINE五感市開催(ライブ配信10/30~11/1、視聴者参加企画は12月末まで) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統産業の各種イベント(オープンファクトリー等)への来場者数(人) [累計] <table border="1" data-bbox="1484 1165 2107 1291"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border: none;"></td> <td>4,000</td> <td>6,000</td> <td>8,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>3,966</td> <td>(9,071)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は参考値(ON-LINE五感市サイトのページビュー数と動画再生回数)</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、周遊型のオープンファクトリー五感市に代えて動画配信等によるON-LINE五感市を開催し、多数の視聴数を得た。 ②伝統産業の更なる認知度の向上や魅力発信、来場者数の増加に取り組む必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4,000	6,000	8,000	10,000	実績	—	3,966	(9,071)	—	—	<ul style="list-style-type: none"> デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援 オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、年間を通じた製作体験やオンライン配信など、令和3年度からの新たな取組等を支援
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		4,000	6,000	8,000	10,000																	
実績	—	3,966	(9,071)	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																		
<p>④産業を振興する道路整備の推進</p>	<p>(1) 工業団地が集積する内陸部と港湾等を結ぶアクセス道路などの広域的な物流の効率化につながる道路整備や内陸部の工業・物流団地間相互やインターチェンジを結び、生産性の向上につながる道路整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道284号 石法華（一関市） ・国道342号 白崖（一関市） ・国道343号 渋民（一関市） ・国道397号 小谷木橋（奥州市） ・一関北上線 谷地（奥州市） <p>において事業を実施</p>	<p>・全箇所において事業実施</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・物流の基盤となる道路整備延長（m）〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1484 205 2092 325"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>1,250</td> <td>9,470</td> <td>14,880</td> <td>15,400</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>4,220</td> <td>13,250</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①適切な進捗管理及び事業予算の確保により、計画以上に整備を進め、目標を達成することができた。</p> <p>令和2年度供用：国道284号石法華 1,300m、 国道343号渋民 5,500m国道342号 白崖 1,830m、国道397号小谷木橋 400m 供用延長計 9,030m</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,250	9,470	14,880	15,400	実績	—	4,220	13,250	—	—	<p>・事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理</p> <p>国道342号 白崖（一関市） 国道397号 小谷木橋（奥州市）</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		1,250	9,470	14,880	15,400																	
実績	—	4,220	13,250	—	—																	

圏域の振興施策の基本方向	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域						
重点施策	5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します						
<p>〔基本方向〕</p> <p>安定的な雇用の確保と、ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる雇用・労働環境の整備を促進し、地域の産業人材の確保・育成・定着を図るため、企業・事業所における働き方改革や人材育成の取組を支援します。</p> <p>地域企業についての理解促進や、働くことへの意識醸成のための小中学生を対象としたキャリア教育を実施するとともに、ものづくり産業を支える人材の育成に向けた高校生から社会人までの技術及び技能の向上に資する取組を実施します。</p> <p>また、高校生、大学生、教員、保護者等に対する地域企業等についての理解促進の取組と魅力発信を行い、若者の県内就職を促進します。</p> <p>多くの人が活躍できる社会の実現と人材確保のため、県と関係機関が連携し、あらゆる働く意欲のある人の就業促進や地元定着を支援するとともに、県外からの就職希望者等に向けた南いわての暮らしや仕事についての情報発信を行います。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
県南圏域高校生の管内就職率(%)	目標	/	85.0	85.0	85.0	85.0	やや遅れ 2020年の実績値は67.8%となっています。今後も児童生徒をはじめ、保護者や教員に地域企業の魅力を知ってもらう取組を進めていきます。
	実績	63.9	64.7	67.8	—	—	
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <p>① 人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上</p> <p>② 若者の職業意識、地元志向の醸成</p> <p>③ 地域企業の理解促進や高校生の資格取得支援</p> <p>④ 企業を支える人材の育成</p> <p>⑤ 移住・定住の促進</p>							

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																																				
<p>①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上</p>	<p>(1) 働き方改革の取組や労働条件の改善に向けた産業関係団体や企業への要請 ○市町、公共職業安定所などと連携した要請活動の実施</p> <p>(2) 仕事と子育て、介護等との両立や全ての人働きやすい環境づくりの推進 ○商工団体会報への働き方改革運動や移住支援金制度等の記事掲載依頼 ○就業支援員等による事業所訪問時のパンフレット配布</p> <p>(3) 地域企業が希望する人材の確保への支援 ○「いわて県南広域企業ガイド」の学校等への配架、ホームページ掲載</p> <p>(4) 地域企業の採用力向上の取組への支援 ○「採用力向上のための勉強会」の開催</p>	<p>・実地での要請活動（5/18花巻市、6/3北上市、6/10金ケ崎町、6/19奥州市）、書面での要請活動（5/29一関地区）の実施</p> <p>・商工団体会報への働き方改革運動や移住支援金制度等の記事掲載依頼 ・就業支援員等によるパンフレット配布</p> <p>・「いわて県南広域企業ガイド」の更新・学校への配架。ホームページ掲載情報の更新（161社）</p> <p>・「採用力向上のための勉強会」高卒採用編（第1回（4/23）8社10名、第2回（6/4）5社5名）、大卒採用編（11/27）23社36名）開催</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・いわて働き方改革推進運動参加事業所数（社）〔累計〕達成</p> <table border="1" data-bbox="1516 268 2089 386"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>110</td><td>165</td><td>220</td><td>275</td></tr> <tr><td>実績</td><td>34</td><td>91</td><td>167</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>・企業ガイド（サイト）閲覧数（回）達成</p> <table border="1" data-bbox="1516 443 2125 560"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>4,000</td><td>4,150</td><td>4,300</td><td>4,450</td></tr> <tr><td>実績</td><td>3,782</td><td>7,439</td><td>8,915</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①いわて働き方改革推進運動参加事業所数については、企業等への要請活動や事業所訪問時に周知を行ったことにより、目標を達成することができた。 企業ガイド閲覧数については、学校を通じて企業ガイドの周知の機会を多く設けたことにより、目標を達成することができた。</p> <p>②今後も生徒に対し、地域企業の理解促進を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		110	165	220	275	実績	34	91	167	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4,000	4,150	4,300	4,450	実績	3,782	7,439	8,915	—	—	<p>・市町、公共職業安定所等と連携した要請活動の実施</p> <p>・働き方改革運動への参加促進</p> <p>・「いわて県南広域企業ガイド」の学校等への配架、ホームページ掲載</p> <p>・「採用力向上のための勉強会」の開催</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		110	165	220	275																																			
実績	34	91	167	—	—																																			
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		4,000	4,150	4,300	4,450																																			
実績	3,782	7,439	8,915	—	—																																			
<p>②若者の職業意識、地元志向の醸成</p>	<p>(1) 新規高卒者の就職や職場定着の支援 ○就業支援員による求人情報の収集及び職場定着支援の実施 ○オンライン形式による職業能力向上研修の開催</p> <p>(2) 小中学生、高校生向けの出前授業等を通じた若者の職業意識の醸成 ○就業支援員やキャリア教育サポーターによる就職ガイダンスや面接練習等の就職支援 ○小中学生、高校生等を対象とした、建設業のイメージアップに向けたカレンダーの配布や、建設業への理解を深めてもらう「建設業ふれあい事業」の開催</p> <p>(3) U・Iターン希望者への地域企業の情報等の情報提供 ○進学校等を対象とした「いわてで働く！出前授業」の開催 ○U・Iターン相談会における情報提供</p>	<p>・就業支援員による職場定着支援を実施（定着支援件数：339件） ・職業能力向上研修の実施（基礎編、応用編）（第1～5期、のべ受講者56人）</p> <p>・就業支援員による高校生の面談や面接練習等の就職支援の実施（学校訪問件数：1066件、キャリア教育支援件数：329件） ・高校を会場とした企業情報ガイダンス開催（6/25一関修紅、11/10千厩、11/11水沢工、11/25一関工、2/15大迫、2/25花北青雲） ・建設業イメージアップカレンダーの作成及び県南局管内8会場における「建設業ふれあい事業」の開催（小学校4校、中学校3校、高校1校）</p> <p>・進学校等を対象とした出前授業「いわてで働く！出前授業」開催（6/3大迫高、6/18花巻北高、12/8金ケ崎） ・地域企業の先輩社員等を講師とした出前授業の開催（12/10水沢工）</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・学校を会場とした企業ガイダンス実施支援回数（回）達成</p> <table border="1" data-bbox="1516 982 2089 1100"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1</td><td>4</td><td>6</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・キャリア教育支援件数（件）達成</p> <table border="1" data-bbox="1516 1192 2089 1310"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>180</td><td>180</td><td>180</td><td>180</td></tr> <tr><td>実績</td><td>179</td><td>647</td><td>329</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年と比べてキャリア教育支援件数は減少したが、学校と情報交換を進めたことや、セミナーや企業ガイダンス等を実施したことにより、目標を達成することができた。</p> <p>②今後も学校と連携して、児童や生徒に対し地域企業の理解促進や、働くことへの意識醸成を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4	4	4	4	実績	1	4	6	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		180	180	180	180	実績	179	647	329	—	—	<p>・就業支援員等による企業訪問や聞き取りによる職場定着支援の実施</p> <p>・小中高生を対象とした工場見学や出前授業の開催支援 ・就業支援員等やキャリア教育サポーターによるセミナーやガイダンス、面接練習等の就職支援の実施 ・高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催 ・管内市町とキャリア教育の先進的取組にかかる情報交換を行う「南いわて地域協働によるキャリア教育研究会」（仮称）の開催 ・建設業協会と連携し、小中学生を対象とした建設工事機械の操作体験などの実施 ・移住支援金制度の周知と対象法人登録の働きかけの実施</p> <p>・普通高校等を対象とした「いわてで働く！出前授業」の実施 ・工業高校や県外就職者が多い高校等を対象とした地域企業の先輩社員等を講師とした出前授業の実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		4	4	4	4																																			
実績	1	4	6	—	—																																			
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		180	180	180	180																																			
実績	179	647	329	—	—																																			

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																																				
<p>③地域企業の理解促進や高校生の資格取得支援</p>	<p>(1) 北上川流域ものづくりネットワークによる地域企業への理解促進 ○小中学校や高校等の工場見学や出前授業の開催支援</p> <p>(2) 教員や保護者を対象とした地域企業への理解促進 ○教員向けミニ企業見学会の開催 ○高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催</p> <p>(3) 工業高校生等を対象とした実技講習等の支援等 ○資格取得に向けた実技講習会の開催支援</p> <p>(4) インターンシップ等を支援し企業を支える質の高い人材の育成と活用 ○受入れ可能企業の掘り起こし</p>	<p>・小中学校(工場見学33件、出前授業11件)、工業高校(工場見学7件、出前授業16件)、普通高校等を対象としたものづくり企業等見学会(14件)を実施</p> <p>・教員向けミニ企業見学会の開催(8/3~8/6、延べ参加者数81人、参加企業数10社)</p> <p>・高校を会場とした企業情報ガイダンス開催(6/25一関修紅、11/10千厩、11/11水沢工、11/25一関工、2/15大迫、2/25花北青雲)(再掲)</p> <p>・一関工専の学生と保護者等を対象とした「地域企業情報ガイダンス」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>・検定試験に向けた実技講習会は、上半期は新型コロナウイルス感染症対策での試験中止を受け、実施がなかったが、下半期の検定試験に向け、実技講習会を実施(6校21回)</p> <p>・企業訪問時にインターンシップ等の受入れ可能企業の情報収集を実施</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・小中高校生の企業見学・出前授業等の実施回数(回) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1516 260 2089 375"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td>/</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><td>実績</td><td>82</td><td>96</td><td>81</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・高校生の技能検定合格者数(人) やや遅れ</p> <table border="1" data-bbox="1516 443 2089 583"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td>/</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td></tr> <tr><td>実績</td><td>400</td><td>536</td><td>255</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業見学・出前授業等については、昨年と比べて回数が減少したが、学校や企業と連携して取り組むことにより、目標を達成することができた。 高校生の技能検定合格者数については、上半期の検定実施が見送られ、受験機会が少なかったことから目標を下回った。</p> <p>②今後も小中高生、教員、保護者等に対し、地域企業の理解促進や、工業高校生の資格取得に向けて支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	80	80	80	80	実績	82	96	81	-	-		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	400	400	400	400	実績	400	536	255	-	-	<p>・小中高生を対象とした工場見学や出前授業の開催支援(再掲)</p> <p>・教員向けミニ企業見学会の開催</p> <p>・高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催(再掲)</p> <p>・工業系高校が資格取得のために実施する実技講習会の開催支援</p> <p>・企業訪問時におけるインターンシップに関する情報収集</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標	/	80	80	80	80																																			
実績	82	96	81	-	-																																			
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標	/	400	400	400	400																																			
実績	400	536	255	-	-																																			
<p>④企業を支える人材の育成</p>	<p>(1) 地域企業の生産性の向上に向けた企業を支える優れた人材育成による企業力の向上 ○「ものづくりいわて塾」「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催</p>	<p>・「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催(初級編(全2回)受講者12人(7/16、7/28)、実践編(全6回)受講者10人(8/26、9/25、10/23、11/27、12/17))</p> <p>・他社での取組の見学を通じ、改善への気付きを学ぶ「ものづくりいわて塾」の実施(全3回、フォロー研修1回、受講者11人(10/16、11/13、1/26、3/11))</p> <p>・「いわて3Sサミット」は今年度開催を見送り</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・改善関連勉強会等受講者数(人) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1516 1047 2089 1163"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td>/</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr><td>実績</td><td>30</td><td>30</td><td>33</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修回数や定員を見直し、受講者からの希望に応じて習熟度別講座を開催したことにより目標を達成することができた。</p> <p>②地域企業のさらなる生産性向上を目指し、企業を支える人材育成を進める必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	30	30	30	30	実績	30	30	33	-	-	<p>・「ものづくりいわて塾」「いわて塾OB会」、「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催</p> <p>・「いわて3Sサミット」の開催</p>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標	/	30	30	30	30																																			
実績	30	30	33	-	-																																			
<p>⑤移住・定住の促進(再掲)</p>	<p>(1) 市町と連携した県南圏域の魅力の発信 ○U・Iターン相談会における情報提供</p> <p>(2) 移住者が安心して活躍できる環境の整備 ○情報交換会の開催</p>	<p>・「南いわて暮らしセミナー～雪国のあったかい話をしよう～(1/23)を東京での現地開催からオンラインに変更して開催するための調整を実施</p> <p>・管内市町等との情報交換会の実施(7/28)</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数(人) 集計中</p> <table border="1" data-bbox="1516 1520 2089 1635"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td>/</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td></tr> <tr><td>実績</td><td>650</td><td>950</td><td>(469)</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値、()内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、セミナーをオンライン開催する等、実施方法を工夫しながら事業を進めたが、目標を下回る見込みである。</p> <p>②引き続き圏域での仕事と暮らしの魅力を広く発信し、移住者受入の環境整備を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	700	700	700	700	実績	650	950	(469)	-	-	<p>・「南いわて暮らしセミナー」の開催</p> <p>・市町等と連携した「情報交換会」の開催</p>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標	/	700	700	700	700																																			
実績	650	950	(469)	-	-																																			

圏域の振興施策の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域						
重点施策	6 地域の魅力の発信による交流を広げます						
<p>〔基本方向〕</p> <p>世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめとする歴史・文化や自然景観のみならず、食、伝統工芸、体験などの多彩な地域資源を総合的に活用し、広域的に周遊し滞在する、顧客満足度の高い観光を促進するとともに、地域消費の拡大などを通じて、観光を核とした地域づくりを推進します。</p> <p>外国人観光客をはじめ、国内外から多くの人に訪れてもらうため、関係機関等と連携した観光情報の発信や、誘客活動を推進するとともに、地域を訪れる国内外からの観光客等の受入態勢を整備し、ホスピタリティの向上を図ります。</p> <p>生涯を通じて身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、地域資源を活用したスポーツ振興を図るとともに、スポーツツーリズムを通じた県内外の人々との交流拡大を支援します。</p> <p>世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめとする観光地へのアクセス向上やラグビーワールドカップ2019TM釜石開催等の機会を捉えたインバウンドに対応するため、地域間の交流・連携の基盤となる道路整備を推進します。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
県南圏域の観光入込客数（延べ人数）（万人回）	目標		1,158.5	1,164.6	1,168.9	1,173.1	未達成 2020年の実績は644.7万人となっています。 2020年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光入込客数が大幅に減少しました。
	実績	1,147.4	1,151.1	644.7	—	—	
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <p>① 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進</p> <p>② 国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入に係るホスピタリティ向上</p> <p>③ 教育機関や国際リニアコライダー（ILC）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進</p> <p>④ 地域と連携したスポーツツーリズムの振興</p> <p>⑤ 観光地へのアクセス向上や地域の魅力を高めるための道路整備の推進</p>							

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>①世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進</p>	<p>(1) 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした観光振興 ○世界遺産連携推進実行委員会の構成団体として、平泉世界遺産祭等の誘客事業に参加 ○「ケロ平」を活用したPR（イベントでの誘客、SNSを活用した発信）</p> <p>(2) 国内教育旅行の推進 ○沿岸圏域を含む連絡会議の設置、教育旅行担当教員の招聘やモニターツアーを実施</p> <p>(3) 中京圏からの誘客拡大 ○中京圏の企業と連携した交流イベントにおける観光PRを実施するとともに企業研修のフォローを実施</p> <p>(4) 管内市町・団体や県際地域と連携した観光推進 ○市町・団体との連絡調整、東北DCに係る連携及び情報発信、岩手・宮城県際観光研究会に係る連絡調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産連携推進実行委員会の事業について概ね計画通り実施。（「平泉世界遺産祭」開催、まるごとにつぼん「おすすめふるさと」出展、LINE公式アカウント開設等） 局の提案事業（歌舞伎座との連携事業）は、緊急事態宣言の発令を踏まえ、翌年度に延期 世界遺産連携推進実行委員会の次年度事業の検討（10/14：事務局との打合せ、10/27：3市町との打合せ、12/23：幹事会、3/24：幹事会、3/30：総会） 「平泉世界遺産祭」（9/5、6）、「ゆるキャラグランプリ」（10/3、4）等のイベントを契機としたPR YoutubeチャンネルやSNS等オンラインを活用し、県南地域の観光情報を発信 「ケロ平」の着ぐるみ3号機の作成、ノベルティグッズ（ぬいぐるみ、発熱チェックカード）、ケロ平利用促進チラシ作成・配布 世界遺産平泉リーフレット改訂版の作成・配布（15,000部） 沿岸圏域を含む連絡会議の開催（7/9、3/2） 横須賀市立武山中学校（8/5～7）、東久留米市立下里中学校（9/26、27）、江東区立第三亀戸中学校（3/29）事前視察招聘 東京事務所における誘致活動（5校） 民間事業者を通じて、仙台圏等のエージェンツ約20社に資料提供及びPR 東武トップツアーへ特別支援校向けモニターツアー等の情報提供 遠野市の協力により、武蔵野市教育委員会及び市内小中学校に資料送付 コロナウイルス感染収束後の誘客に向けて名古屋事務所や中京圏の企業からの情報収集 （株）豊田自動織機社食フェア（6/1～5、7/13～24、11/9～12）、（株）デンソー社食フェア（7/13～8/7）、アイシン精機社食フェア（11/4～27）におけるPR 現地企業を通じて旬彩ごほうびフェア（10月、2月）をPR 市町と連携し、東北DCに向けた観光素材を収集、専用サイトで公開（12/31現在203素材、内特別素材：15） 東北DC岩手県観光商談会（9/2）・エクスカッション（9/4）への参加。サポーター企画（Welcome to TOHOKU 隊）の実施に向けた調整 県南広域圏市町観光担当者情報交換会を開催（11/30） 岩手・宮城県際広域観光推進研究会の会議を開催（2/16） 岩手・宮城県際広域観光の振興について、ポータルサイトの移行や老朽化した広域観光案内板の処理を完了（12月） DMOに対する支援を行い、プレミアム旅行商品の開発・販売を支援（県観光プロモーション室と連携、一関・花巻にて4商品を開発） 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数（延べ人数）（万人回） <table border="1" data-bbox="1484 283 2062 441"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>580.8</td> <td>587.8</td> <td>593.9</td> <td>600.2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>567.5</td> <td>590.7</td> <td>338.1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインやSNSの活用等、トレンドの変化も取り入れながら事業を実施してきたが、イベントが中止になるなど観光入込客数が減少し、目標を達成することができなかった。 ②引き続き、新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めつつ、観光資源の磨き上げや観光情報の発信などを進める必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		580.8	587.8	593.9	600.2	実績	567.5	590.7	338.1	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 「平泉の文化遺産」世界遺産登録10周年及び東北DCの開催を契機とし、「平泉」を中心とした南いわての観光資源の磨き上げによる観光振興 教育旅行誘致に係る新規開拓等について、特に東京事務所と連携しながら実施 世界遺産平泉と震災学習（特に東日本大震災津波伝承館）をゲートウェイとした旅行コースを核としながら、県南と沿岸圏域の連携や情報共有を継続して実施 コロナ禍で農泊による受入が厳しい状況のため、ホテル・旅館泊による教育旅行をエージェンツ等へPR これまでの企業とのつながりを生かし、社食フェアを中心に観光情報の発信の取組を継続 東北DCに向けた取組等の成果を活かした、さらなる観光素材の磨き上げや発掘、魅力ある観光地づくりへの取組 マイクロツーリズムのトレンドや朝ドラ放映等を契機とした、岩手・宮城県際地域の連携による観光振興
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		580.8	587.8	593.9	600.2																	
実績	567.5	590.7	338.1	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																		
<p>②国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入に係るホスピタリティ向上</p>	<p>(1) 外国人観光客等の受入推進 ○外国人観光客の受入に係る個別研修の開催 ○宿泊施設を対象とした研修会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個別研修を受ける前に基本知識を習得することを目的とした動画をYoutubeに掲載（3本） 個別研修の実施（台湾中国語：10/27 奥州市、英語：2/16 一関市） 宿泊施設を対象にワーケーションをテーマとした研修会を開催（参加者：会場10名、オンライン25名） 	<p>・県南圏域での宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1" data-bbox="1484 226 2059 380"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>189.6</td> <td>192.2</td> <td>193.4</td> <td>194.7</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>185.4</td> <td>230.5</td> <td>167.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>概ね達成 現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ワーケーションなど新たなニーズを踏まえた内容も研修に加えつつ、事業を実施してきたが、観光客の宿泊者数は減少し、目標は概ね達成となった。</p> <p>②今後も新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めながら、宿泊施設や観光施設における受入環境整備を進める必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		189.6	192.2	193.4	194.7	実績	185.4	230.5	167.8	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 国内観光客の受入を視野に入れ、観光・宿泊事業者の魅力向上のための取組を支援 外国人観光客の受入態勢整備については長期的な視点から取組を実施
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		189.6	192.2	193.4	194.7																	
実績	185.4	230.5	167.8	—	—																	
<p>③教育機関や国際リニアコライダー（ILC）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進</p>	<p>(1) 教育旅行を通じた台湾との相互交流の推進 ○訪日教育旅行の受入学校における生徒間交流の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響による国際線及び海外渡航の再開目途が立たず、日台の受入学校での検討が止まっているため、取組なし JNTO主催の教育旅行商談会（国内）は中止 平成30年度に台湾訪日教育旅行現地説明会に参加した一関修紅高校において、台湾への修学旅行再開の意向あり 	<p>【指標の状況】</p> <p>・県南圏域での外国人宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1" data-bbox="1484 779 2059 932"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>9.5</td> <td>11.5</td> <td>12.2</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6.4</td> <td>10.1</td> <td>2.0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>未達成 現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外国人宿泊者数は減少し、目標を達成することができなかった。</p> <p>②新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めながら、訪日教育旅行等、海外との相互交流の推進を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		9.5	11.5	12.2	13.0	実績	6.4	10.1	2.0	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて関係機関から情報収集を中心に取組を実施
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		9.5	11.5	12.2	13.0																	
実績	6.4	10.1	2.0	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度取組方針																								
<p>④地域と連携したスポーツツーリズムの振興</p>	<p>(1) 地域のスポーツ資源とスポーツアクティビティの魅力の情報発信 ○地域のスポーツ資源やアクティビティのHPや観光情報SNSでの情報発信(南いわてスポーツカレンダーの定期発行:年4回)</p> <p>(2) 東京2020オリ・パラのキャンプ地やホストタウンと関係国との交流を支援 ○市町の取組状況の情報収集 ○地域経営推進費による支援</p> <p>(3) マラソン等連携事業など市町との連携による地域の魅力づくりの支援 ○県南レジェンドランナーズの実施 ○県南広域スポーツ等連携実行委員会での情報共有</p>	<p>・南いわてスポーツカレンダー発行によるスポーツ施設や健康づくり情報発信(2回発行:8月特別号、10-12月号を各市町、体育協会、スポーツクラブ等へ毎号、約1,000枚配布)(再掲)</p> <p>・いわてスポーツコミッションHPや振興局の観光情報SNSでイベント情報等を発信</p> <p>・サイクリング・ウォーキングコースの利用促進(リーフレットを管内観光案内所、レンタサイクル等へ計500枚配布)(再掲)</p> <p>・聖火リレー実施に向けた準備や情報収集</p> <p>・地域経営推進費(市町村事業のオリ・パラ枠)による支援</p> <p>・実行委員会でのマラソン連携事業等の実施内容の検討や新型コロナ対策等の情報共有</p> <p>・県南レジェンドランナーズのオンライン企画やプログラミングDAY(9/27)、県南レジェンドランナーズ記録会(11/14)の実施、情報発信</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・スポーツ施設入場者数(万人)</p> <table border="1" data-bbox="1484 241 2053 390"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">未達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>338</td> <td>338</td> <td>338</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>338</td> <td>304</td> <td>192</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツイベントの中止や施設の一時閉鎖が相次ぎ、スポーツ施設の利用が減少したことから、目標を達成することができなかった。</p> <p>②聖火リレーなどオリ・パラ関連事業の支援や情報発信を行うほか、市町と連携して地域のスポーツ資源の魅力発信し、県民のスポーツへの参加促進と交流人口の拡大を図る必要がある。</p>						未達成		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		338	338	338	338	実績	338	304	192	—	—	<p>・管内のスポーツイベントやスポーツアクティビティなど地域資源の魅力を市町や関係機関と連携して発信</p> <p>・サイクリング・ウォーキングリーフレットの掲載情報の充実(レンタサイクル情報等の拡充)</p> <p>・市町の意向を把握しつつ、オリ・パラ大会の事前キャンプ地やホストタウン交流事業を支援</p> <p>・いわて県南レジェンドランナーズ等の実施</p> <p>・実行委員会での市町との情報共有及び意見交換</p>
					未達成																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																							
目標		338	338	338	338																							
実績	338	304	192	—	—																							
<p>⑤観光地へのアクセス向上や地域の魅力を高めるための道路整備の推進</p>	<p>(1) 高規格道路等を有効に活用し、県内各地の観光地を周遊する道路の整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道284号 石法華(一関市) ・国道342号 白崖(一関市) ・国道343号 渋民(一関市) ・国道397号 小谷木橋(奥州市) ・花巻大曲線 小倉山(西和賀町) ・釜石遠野線 笛吹峠(遠野市) <p>において事業を実施</p>	<p>・全箇所において事業実施</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・観光地へのアクセス道路整備延長(m)[累計]</p> <table border="1" data-bbox="1484 955 2125 1077"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>1,250</td> <td>9,470</td> <td>11,910</td> <td>15,910</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>1,250</td> <td>10,280</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①適切な進捗管理により、計画以上に整備を進め、目標を達成することができた。</p> <p>令和2年度供用:国道284号石法華 1,300m、国道342号白崖 1,830m、国道342号白崖 1,830m、国道397号小谷木橋 400m 供用延長計 9,030m</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>						達成		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,250	9,470	11,910	15,910	実績	—	1,250	10,280	—	—	<p>・事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理</p> <p>国道342号 白崖(一関市)</p> <p>国道397号 小谷木橋(奥州市)</p>
					達成																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																							
目標		1,250	9,470	11,910	15,910																							
実績	—	1,250	10,280	—	—																							

圏域の振興施策の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域						
重点施策	7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります						
〔基本方向〕 「食と観光」の連携により、地域の魅力向上を図り、交流人口の増加を促進します。 国内外での取引拡大に向け、各マーケットでの販売活動に加え、地域食材の地域内流通や消費者のニーズに応じた販売方法に取り組む企業への支援を推進します。 競争力向上のため、南いわて食産業クラスター形成ネットワークを活用した企業の連携ビジネスの創出や人材育成を推進します。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
食料品製造出荷額 (億円)	目標		853 (2018)	861 (2019)	870 (2020)	879 (2021)	達成 2020年（2019年）の実績は916億円となっています。 引き続き、商談会等を活用した国内外への販路拡大や企業力向上に向けた取組を行います。
	実績	837 (2016)	939 (2018)	916 (2019)	—	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 地域食材を生かした魅力的な地域づくりの支援と交流人口の拡大 ② 国内外への取引拡大の推進 ③ 「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進							

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度の取組方針																																				
<p>①地域食材を生かした魅力的な地域づくりの支援と交流人口の拡大</p>	<p>(1) 地域の特色ある食材を切り口とした体験型イベント等の開催 ○旬彩ごほうびフェアの開催(10月、2月) ○着地型旅行商品造成に向けた取組 ○首都圏シェフによる産地視察 ○次年度以降のフェアの体制に係る関係者間協議</p>	<p>・旬彩ごほうびフェア内容検討(感染症対策、効果的PR手法等)及び参加店募集 ・旬彩ごほうびフェアの開催(北上・西和賀・金ケ崎エリア) 秋:10/1~10/31 来店者約2万人 冬:2/1~2/28 来店者約9千人 ・テレビ番組(10/2、5きげんテレビ)と専用HPでのフェアPR ・満足度No.1メニューグランプリ表彰と食事券プレゼント ・旅行商品造成に係る旅行会社招請 収穫体験×青空ランチ開催(10/25、参加者36人、旅行会社2人招請) ・首都圏シェフへの食材紹介 ・産地視察招請(新型コロナ感染状況を踏まえ、実施困難と判断)</p>	<p>【指標の状況】 ・地産地消イベント参加人数(人) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1498 241 2122 367"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>14,400</td> <td>19,200</td> <td>24,000</td> <td>28,800</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>43,222</td> <td>30,168</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年と比べてイベント参加人数は減少したが、感染拡大防止をしながら実施したことにより、目標を達成することができた。 ②引き続き、県南地域における「食のまち」づくりを推進するため、市町、関係者と協議しながら取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		14,400	19,200	24,000	28,800	実績	—	43,222	30,168	—	—	<p>・地産地消レストランフェアの3市町から県南広域への展開 ・新たな食の誘客コンテンツ「シェフ交流イベント」等の開催 ・食のまちづくりチームの活動支援を通じた、食のまちの核となる人材育成とネットワーク強化 ・「食」を目的とした旅行商品造成支援</p>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		14,400	19,200	24,000	28,800																																			
実績	—	43,222	30,168	—	—																																			
<p>②国内外への取引拡大の推進</p>	<p>(1) 商談会等を活用した販路拡大 ○県主催商談会への出展支援 ○仙台圏大手卸売企業(国分東北株)主催商談会への出展 ○中京圏社食フェアの開催支援</p> <p>(2) インターネット通販の取組拡大 ○ネットショップ開業セミナーの開催</p> <p>(3) 地域食材の輸出拡大 ○釜石港国際物流ルート構築実証実験</p>	<p>・県主催商談会出展支援(10/29名古屋・5社、11/24盛岡・24社、2/8仙台・5社、2/17~19東京・11社) ・国分東北株主催商談会中止に伴い事業変更⇒仙台圏バイヤーへのモニタリング及び食クラネット主催ビジネス交流会(2/24)への招請 ・株豊田自動織機社食フェア(6/1~5、7/13~24、11/9~12)、株デンソー社食フェア(7/13~8/7)、アイシン精機株社食フェア(11/4~27) (再掲)</p> <p>・ネットショップ開業セミナー配信(①10/19~、②10/29~、③11/12~、④11/26~ 閲覧数延べ180名)</p> <p>・釜石港国際物流ルート構築実証実験 小口混載輸送実験2件(輸出先:大連、台湾) 冷凍コンテナ輸送実験2件(輸出先:タイ、香港)</p>	<p>【指標の状況】 ・商談会での取引成立件数(件) やや遅れ</p> <table border="1" data-bbox="1498 829 2122 955"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>105</td> <td>110</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>99</td> <td>113</td> <td>66</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①仙台圏バイヤーの招請など、新たな取組を展開しながら販路拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による商談会への参加企業数減に伴い、目標を下回った。 ②引き続き、商談会の活用や輸出促進の取組等により、事業者の国内外における販路開拓を支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		105	110	115	120	実績	99	113	66	—	—	<p>・県主催商談会への出展支援 ・国分東北株主催商談会出展など仙台圏バイヤーを対象とした取引拡大支援 ・中京圏社食フェア開催支援</p> <p>・インターネット通販参画を支援するセミナーの開催</p> <p>・釜石港国際物流ルート構築実証実験の実施</p>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		105	110	115	120																																			
実績	99	113	66	—	—																																			
<p>③「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進</p>	<p>(1) 「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」(食クラネット)連携体制の充実 ○運営委員会、定例総会、ビジネス交流会の開催 ○食クラネットを活用した連携ビジネスの創出及び取引拡大の推進</p> <p>(2) 個々の企業の経営課題への解決支援 ○専門家派遣事業(マーケティング、情報発信、HACCP) ○HACCP導入支援(保健所主催説明会等の周知)</p>	<p>・第1回運営委員会書面審議(7/3) ・定例総会書面審議(7/20) ・第2回運営委員会(10/7) ・第3回運営委員会書面審議(2/4) ・ビジネス交流会開催(2/24、参加者137名) ・企業間連携プロジェクト実施(①食クラネット・仙台圏バイヤー連携、②食×五感市コラボ企画)</p> <p>・専門家派遣 マーケティング(9社)、情報発信(12社)、HACCP(4社)⇒3月末時点計25社 ・保健所主催HACCPワークショップ(9/29:3名、10/22:3名、11/17:5名、1/21:2名) ・県くら課主催HACCPセミナー(11/18:県南98名)</p>	<p>【指標の状況】 ・企業間連携プロジェクト支援件数(件) [累計] 達成</p> <table border="1" data-bbox="1498 1375 2122 1501"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>17</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・ネットワーク組織参加団体数(団体) [累計] 達成</p> <table border="1" data-bbox="1498 1564 2122 1690"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>390</td> <td>400</td> <td>410</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>364</td> <td>398</td> <td>405</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】 ①ネットワーク組織の順調な拡大に伴い、企業間連携の動きも進み、目標を達成することができた。 ②引き続き、ビジネス交流会の開催や個々の経営課題を解決するための専門家派遣に取り組み、連携体制の充実と企業力向上を支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		17	19	21	23	実績	12	17	19	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		390	400	410	420	実績	364	398	405	—	—	<p>・運営委員会、定例総会の開催 ・ビジネス交流会の開催 ・提案見える化シートのPRによるネットワーク会員間の連携 ・なお一層の企業間連携に向けた食クラネット運営体制の見直し</p> <p>・専門家派遣事業(マーケティング、情報発信、HACCP) ・保健所と連携したHACCP導入支援</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		17	19	21	23																																			
実績	12	17	19	—	—																																			
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		390	400	410	420																																			
実績	364	398	405	—	—																																			

圏域の振興施策の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域						
重点施策	8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます						
<p>〔基本方向〕</p> <p>世界遺産「平泉の文化遺産」を地域の財産として次世代に確実に継承していくために、その価値・理念の普及と県内外への魅力発信を推進します。</p> <p>また、地域の民俗芸能や伝統工芸、歴史文化など次世代への継承に向けた取組を支援します。多様な文化芸術の創作活動へ参加・鑑賞できる機会の提供等を推進するため、文化芸術活動への支援や、文化をめぐる新しい動向を踏まえた文化芸術の新たな魅力発信を推進します。</p> <p>国内外の観光客等が地域の文化芸術に触れ、親しみを持つことができるよう、地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成を支援します。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
公立文化施設における催事数（件）	目標		574	580	586	592	未達成 2020年の実績値は243件となっています。 今後も、伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出に向けて取組を行います。
	実績	562	493	243	—	—	
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <p>① 伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信</p> <p>② 文化芸術と触れ合う機会の創出</p> <p>③ 地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成</p>							

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組の方向	令和3年度を取組方針																																				
①伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信	<p>(1) 「平泉の文化遺産」の価値・魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平泉世界遺産の日の普及啓発のためのポスター作成・配布 ○平泉の理念と魅力の普及に向けた幼稚園等への出前授業の実施 <p>(2) 伝統産業の販路拡大促進や魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援(再掲) ○オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、情報発信を支援(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉世界遺産の日ポスター作成・配布(830枚) ・平泉町等との連携による平泉世界遺産の日の普及啓発や関係機関と連携した情報発信 ・幼児対象のケロ平・きよひらくん紙芝居による出前授業(10/31ひらいずみ芸術文化祭内) ・世界遺産登録10周年に向け、平泉の文化遺産の価値や魅力の情報発信のため紙芝居動画を制作 ・「動画編集・ライブ配信についての勉強会」を開催(9/11)(再掲) ・「販路拡大、商品開発に向けた経営マネジメント研修」を開催(12/9)(再掲) ・ON-LINE五感市開催(ライブ配信10/30~11/1、視聴者参加企画は12月末まで)(再掲) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産等の来訪者数(万人回) 未達成 <table border="1" data-bbox="1644 247 2211 363"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>221.5</td> <td>224.5</td> <td>226.9</td> <td>229.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>216.1</td> <td>206.5</td> <td>90.3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光施設が一時閉鎖したことで、平泉町の観光客数が大きく減少し、目標を達成できなかった。 ②引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、関係機関と連携して平泉の文化遺産の価値と魅力を発信し、交流人口の拡大を図る必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		221.5	224.5	226.9	229.3	実績	216.1	206.5	90.3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録10周年を契機として、ラジオミニ番組の放送や紙芝居動画の活用など、平泉文化の価値と魅力の普及のための情報発信を実施 ・デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援(再掲) ・オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、年間を通じた制作体験やオンライン配信など、令和3年度からの新たな取組等を支援(再掲) 																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		221.5	224.5	226.9	229.3																																			
実績	216.1	206.5	90.3	—	—																																			
②文化芸術と触れ合う機会の創出	<p>(1) 伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県文化芸術コーディネーター設置による相談、情報収集・発信等での支援 ○若者文化振興事業費補助金による文化芸術活動の支援と機会の創出 <p>(2) 文化芸術コーディネーター、関係機関のネットワーク強化と講演会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化ホール催事企画の充実に向けた研修会を開催 <p>(3) 文化芸術への参加意欲の醸成と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いわての文化情報大辞典」等での情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・県文化芸術コーディネーターによる活動支援や新型コロナ対策支援情報の周知(再掲) ・若者文化振興事業費補助金事業(1件)による高校演劇動画のオンライン配信と舞台技術講座と批評講座の実施(動画視聴416回、講座参加40名、11/8で終了)(再掲) ・文化芸術活動支援ネットワーク会議で新型コロナ対策をテーマとした研修を実施(参加者9/2:18名、9/30:16名 計34名)(再掲) ・「いわての文化情報大辞典」や振興局のSNS等での情報発信(大辞典Facebook投稿38件) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設入場者数(千人) 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1644 758 2211 898"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>85.4 (2018)</td> <td>86.3 (2019)</td> <td>87.2 (2020)</td> <td>88.1 (2021)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>84.5</td> <td>96.2</td> <td>73.7</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動研修会参加者数(人) [累計] 達成 <table border="1" data-bbox="1644 993 2211 1108"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>25</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>29</td> <td>63</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、文化施設入場者数については、施設の一時閉鎖や催事の中止が相次ぎ、入場者数が減少したことから、目標は概ね達成にとどまった。研修会参加者数については、感染対策をテーマとすることで多くの参加申込があり、目標を達成することができた。 ②引き続き、文化芸術コーディネーターと連携し、文化施設等の催事力の向上支援と情報発信を行いながら県民が文化芸術に触れる機会を創出する必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		85.4 (2018)	86.3 (2019)	87.2 (2020)	88.1 (2021)	実績	84.5	96.2	73.7	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		25	50	75	100	実績	—	29	63	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術コーディネーター等関係機関と連携した活動支援と情報発信を実施 ・管内の団体や関係機関への新型コロナウイルス感染対策関連を含む支援情報の提供
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		85.4 (2018)	86.3 (2019)	87.2 (2020)	88.1 (2021)																																			
実績	84.5	96.2	73.7	—	—																																			
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		25	50	75	100																																			
実績	—	29	63	—	—																																			
③地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成	<p>(1) 地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアガイド研修会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド等スキルアップ研修会のための関係機関のヒアリング ・歴史や伝統文化を学ぶ観光ガイド等スキルアップ研修会をオンライン配信も併用して開催(1/28平泉会場31名、オンライン15名 計46名) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会参加者数(人) [累計] 達成 <table border="1" data-bbox="1644 1572 2211 1688"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>50</td> <td>100</td> <td>150</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>57</td> <td>103</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン配信も併用して開催したことにより、目標を達成することができた。 ②県立平泉世界遺産ガイダンスセンターの開館も見据え、地域の歴史文化、魅力を伝える人材の育成を進める必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		50	100	150	—	実績	—	57	103	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド等を対象としたスキルアップ研修会の実施 																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		50	100	150	—																																			
実績	—	57	103	—	—																																			

圏域の振興施策の基本方向	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域
重点施策	9 企業の経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます

〔基本方向〕

地域農業をけん引する企業の経営体を育成するため、認定農業者等の経営力の向上や規模拡大の取組等を促進するとともに、ほ場整備等を契機として、農地の集積・集約化などによる効率的な地域営農体制の構築を支援するほか、将来の産地を担う新規就農者の確保・定着を図ります。

また、収益性の高い産地形成を進めるため、県オリジナル水稲新品種のブランド確立や、園芸・畜産の大規模経営体の育成、労働力の安定確保等を図るとともに、安全・安心で高品質な農畜産物の生産や一層の高付加価値化に向けた6次産業化等を促進します。

さらに、農村地域でのいきいきとした暮らしの継承に向け、小規模兼業農家も参加した地域ビジョン等の作成とその実現に向けた実践活動のほか、企業との協働・連携活動、都市住民等との交流など、農村資源の保全や活用による地域づくりの取組を促進します。

重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	指標の動きに対するコメント
農業産出額（億円）	目標		976 (2018)	979 (2019)	983 (2020)	987 (2021)	達成 2020年（2019年）の実績値は1,030億円となっています。 今後も産地をけん引する企業の経営体の育成等により収益性の高い産地形成を図り、産出額の拡大を目指します。
	実績	974 (2016)	1,033 (2018)	1,030 (2019)	—	—	

〔基本方向の実現に向けた取組〕

- ① 産地をけん引する企業の経営体の育成
- ② 競争力の高い米産地の育成
- ③ 園芸産地の生産構造の強化
- ④ 畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進
- ⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進
- ⑥ 協働・連携による農村地域の保全・活性化

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度を取組方針																																																																								
<p>①産地をけん引する企業的経営体の育成</p>	<p>(1) 地域農業マスタープランの実質化・実践及びほ場整備事業による生産基盤の整備、農地の集積・集約化 ○マスタープラン実質化・実践支援 ○ほ場整備事業の計画的な実施と新規地区掘り起こし ○農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化の推進</p> <p>(2) 企業的経営体の育成や集落営農組織等の法人化や経営の高度化 ○企業的経営体*の育成に向けた支援 ※ 売上3,000万円又は所得1,000万円 ○集落営農組織の法人化と経営の高度化の支援</p> <p>(3) 新規就農者の確保及び自立支援や青年・女性農業者の活動強化 ○新規就農者の確保及び就農後の自立支援 ○若手や女性グループの活動支援</p>	<p>・マスタープラン実質化に向けて、各市町が開催する推進チーム会議や地区ごとの検討会等により全地域で135のプランが実質化(135プラン内訳：花巻26、遠野11、奥州51、一関47)</p> <p>・ほ場整備事業に係る関係法令等について確認する事前審査会や工事の進捗管理、新規採択に向けた住民説明会の開催</p> <p>・農地の集積・集約化を推進するためモデル地区を設定し、農地中間管理事業の活用に向けた計画作成等の指導・助言</p> <p>・支援経営体候補リストアップや重点指導農業者への「いわて農業経営相談センター」の専門家(税理士、社労士)派遣による個別指導や農業経営発展フォーラム(11/19)、経営改善セミナー(12/10)の開催</p> <p>・集落営農実践塾や法人化個別相談会、法人化推進研修会を開催</p> <p>・新規就農者確保のためワンストップ就農相談窓口での相談対応や就農後の技術向上のためのベテラン農家による指導</p> <p>・新規就農希望者の農業体験会の開催(各1回：きゅうり、トマト、ピーマン)</p> <p>・女性グループが取り組む商品開発等活動に対する食品加工技術やマーケティング等の情報提供</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・企業的経営体の育成数(経営体)〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1537 205 2107 327"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>34</td><td>42</td><td>51</td><td>60</td></tr> <tr><td>実績</td><td>19</td><td>51</td><td>61</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・集落型農業法人数(法人)〔累計〕 概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1537 411 2107 533"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>173</td><td>182</td><td>190</td><td>200</td></tr> <tr><td>実績</td><td>148</td><td>167</td><td>171</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①企業的経営体については、農家カルテ等による課題の共有と解決支援により目標を達成することができた。また、集落型農業法人については、研修会や個別相談会等の開催や専門家の支援により、目標は概ね達成となった。</p> <p>②農業経営体数の減少が続く中、引き続き産地をけん引する企業的経営体の育成や、集落営農組織の法人化を進める必要がある。</p> <p>【指標の状況】</p> <p>・認定新規就農者数(人)〔累計〕 達成</p> <table border="1" data-bbox="1537 974 2107 1096"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>62</td><td>92</td><td>118</td><td>145</td></tr> <tr><td>実績</td><td>20</td><td>60</td><td>94</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①認定新規就農者については、就農相談から就農後までの支援システムにより、目標を達成することができた。</p> <p>②新規就農者は、毎年90人前後で推移しており、相談窓口体制の強化等により更に確保する必要がある。</p> <p>【指標の状況】</p> <p>・水田整備面積(ha)〔累計〕 概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1537 1436 2142 1558"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>13,569</td><td>13,785</td><td>14,003</td><td>14,210</td></tr> <tr><td>実績</td><td>13,056</td><td>13,518</td><td>13,766</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①水田の大区画化、汎用化を図る水田整備については、早期の発注と的確な進捗管理により、目標は概ね達成となった。</p> <p>②生産コストの低減、高収益作物の導入及び農地利用集積・集約化の促進等に向け、水田整備を着実に推進する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		34	42	51	60	実績	19	51	61	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		173	182	190	200	実績	148	167	171	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		62	92	118	145	実績	20	60	94	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		13,569	13,785	14,003	14,210	実績	13,056	13,518	13,766	—	—	<p>・実質化した地域農業マスタープランの実践支援</p> <p>・ほ場整備工事の進捗管理、令和3年度計画確定地区の土地改良法の手続き等を実施</p> <p>・モデル地区を中心に継続した話し合いを支援</p> <p>・いわて経営相談センターと連携した、育成対象への経営計画作成支援等、専門家派遣等による課題解決の支援</p> <p>・集落営農組織の発展段階に応じて、規模拡大や新たな園芸品目の導入、法人化の支援及び経営高度化の支援</p> <p>・オンラインを活用した新規就農相談窓口の設置</p> <p>・就農準備から就農後フォローアップまでの『就農支援システム』による早期自立を支援</p> <p>・女性農業者等の経営参画を促進するため、研修会等を開催し、活動強化やネットワーク化を支援</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		34	42	51	60																																																																							
実績	19	51	61	—	—																																																																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		173	182	190	200																																																																							
実績	148	167	171	—	—																																																																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		62	92	118	145																																																																							
実績	20	60	94	—	—																																																																							
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																																							
目標		13,569	13,785	14,003	14,210																																																																							
実績	13,056	13,518	13,766	—	—																																																																							

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度を取組方針																																				
<p>②競争力の高い米産地の育成</p>	<p>(1) 「金色の風」、「銀河のしずく」等の高品質・良食味米生産と多様なニーズに対応した生産販売・流通体制の構築 ○高品質・良食味米生産支援 ○生産販売・流通体制の構築支援</p> <p>(2) 低コスト技術の普及拡大及びスマート農業技術の導入促進、水田における土地利用型作物の生産性向上 ○低コスト生産技術の普及拡大 ○スマート農業技術の実証・展示 ○大豆栽培等土地利用型作物の生産性向上支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「金色の風」の多収栽培モデルほ場の設置（奥州5、一関2）や現地指導会や個別巡回指導、「金色の風だより」の発行（7回）、金色の風：単収496.9kg/10a（前年比15.9kg、奥州） 金色の風サポーターの募集・登録(71名(前年比16名増)) オンラインによる産地交流会開催（10/27、1/22）や地元温泉旅館とのコラボによる銀河のしずくPR（11/7～23、宿泊者13,877名） 大雪被害による育苗ハウスの倒壊の影響については、農協育苗センター等の受入拡大などにより確保見込み 市町が行う被災対策事業の申請や要望受付支援を行い、被災農業者の早期復旧を支援 <ul style="list-style-type: none"> 高密度短期育苗や直播を行うモデル農家への除草や施肥等の栽培技術等管理指導 可変施肥ロボット田植機、ラジコン草刈機、食味・収量センサー付きコンバインの実演会の開催、除草ロボットによる畦畔除草等を実証・展示（スマート農業技術に関する実演会や研修会等の開催：21回） 大豆の排水対策や病害虫等の適期防除指導、加工用じゃがいもの商品化率向上のための栽培密度を検証する実証ほ場の設置 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米のオリジナル新品種販売数量（トン） 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1537 205 2107 321"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3,170</td> <td>3,700</td> <td>4,240</td> <td>4,800</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,738</td> <td>3,136</td> <td>3,393</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> 栽培管理指導等により単収は向上しているが、作付面積が拡大しなかったものの、目標は概ね達成となった。 水稲オリジナル新品種の高品質・安定生産体制の強化やブランド化、単収向上等によるオリジナル新品種の作付面積拡大を進める必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3,170	3,700	4,240	4,800	実績	1,738	3,136	3,393	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 栽培研究会等への栽培マニュアルの遵守指導による高品質・良食味の生産体制強化 タウン誌等を活用した情報発信や地元記念イベントと連携した販売促進 <ul style="list-style-type: none"> リモート等による産消交流や米小売業者や飲食店と連携したPR活動 リモートセンシング技術等の活用による、超省力で高品質、高単収生産を実現するスマート農業技術の体系的な実証による技術の定着支援 土地利用型作物による所得確保のため、水田の汎用化等による麦・大豆等の単収向上の支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大雪被害への対応】</p> <p>市町及び関係団体と連携し、被災農業者緊急支援事業（県単）等を活用し、経営基盤の復旧と経営継続を支援</p> </div>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		3,170	3,700	4,240	4,800																																			
実績	1,738	3,136	3,393	—	—																																			
<p>③園芸産地の生産構造の強化</p>	<p>(1) 団地形成の促進等による大規模経営体の育成、スマート農業技術による生産性向上、JA職業紹介所や農福連携による労働力確保 ○県単事業*を活用した大規模経営体の育成 ※いわて型野菜トップモデル産地創造事業 ○スマート農業技術の活用による省力化支援 ○労働力の安定確保</p> <p>(2) 花き・果樹の実需者ニーズに対応した安定的・効率的な生産出荷体制づくり ○ニーズに対応した品種構成や安定出荷への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ピーマンハウス整備及びねぎの調製管理機械の導入支援や「地域集中支援チーム」による栽培管理指導、花巻地域ではピーマン巡回指導（7回）や肥培管理に関する合同研修会の開催（12/3） 環境モニタリングシステム機器導入のため事業活用や環境制御機器を整備した農家の管理指導や実証結果を関係者で検討 JA無料職業紹介所の求人募集の周知や雇用情報等の提供、福祉施設の指導員を対象とした農作業見学会や農福連携支援員による農家と福祉事業所のマッチング（令和2年度締結件数8件） <ul style="list-style-type: none"> りんごの改植に向けた5団地の意向調査（奥州）、トルコキキョウのブランド化のためのベテラン農家と連携した指導会の開催、小ぎくの新規栽培者向け技術習得のためのセミナー開催（一関、6回、延べ83戸参加） 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点園芸品目の系統販売額（百万円/年） 達成 <table border="1" data-bbox="1537 1157 2107 1272"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>4,754</td> <td>4,836</td> <td>4,918</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4,580</td> <td>4,931</td> <td>5,242</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※トマト、きゅうり、ピーマン、なす、アスパラガス、ねぎ、りんどう、小ぎくの合計 現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> 団地化と単収技術向上等の支援によりピーマン等で販売額が増加し目標を達成することができた。 規模拡大した農家への継続した栽培管理支援をする必要がある。 <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売額1,000万円以上の園芸農家戸数（戸） 達成 <table border="1" data-bbox="1537 1671 2107 1787"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>84</td> <td>86</td> <td>89</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>81</td> <td>77</td> <td>96</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> 単収改善及び販売単価が堅調であったことから、目標を達成することができた。 産地の生産性向上に向けた栽培の省力化や単収向上を図る必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4,754	4,836	4,918	5,000	実績	4,580	4,931	5,242	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		84	86	89	92	実績	81	77	96	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 施設園芸団地や土地利用型団地の形成、大規模経営体の育成に向けた「地域集中支援チーム」による支援 環境制御技術等のスマート農業技術の導入等による生産性の向上を支援 安定した労働力確保のため、JA無料職業紹介所等との連携や、福祉事業所と農家とのマッチングを支援 <ul style="list-style-type: none"> 産地支援行動計画に基づき、産地リーダーが主体となった園芸品目毎の実践プランの取組を支援 品種構成や作型見直し、計画的な新改植等の促進と生産性向上に向けた機械等の整備を支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大雪被害への対応】</p> <p>市町及び関係団体と連携し、被災農業者緊急支援事業（県単）等を活用し、経営基盤の復旧と経営継続を支援</p> </div>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		4,754	4,836	4,918	5,000																																			
実績	4,580	4,931	5,242	—	—																																			
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		84	86	89	92																																			
実績	81	77	96	—	—																																			

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度を取組方針																		
<p>④畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進</p>	<p>(1) 新技術の導入や飼養管理方式の改善による生産性の向上、素牛導入、施設整備等による生産基盤強化 ○飼養管理方式の改善や疾病対策農家への支援 ○牛舎等の整備や素牛導入の支援</p> <p>(2) 外部支援組織の機能強化や良質な自給飼料確保 ○公共牧場の牧草管理やキャトルセンターの飼養管理改善支援 ○コントラクター組織の育成・活用による粗飼料の確保支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 酪農・肉牛サポートチームによる飼料給与メニューの見直し等飼養管理等改善の指導や乳房炎ワクチン実証農家や牛伝染性リンパ腫の対策を行うモデル農家への分離飼養等の指導(防虫ネット設置5戸、アブキャップ設置4戸、アブジャケット活用1戸) 畜産公共事業等を活用した施設整備や家畜導入の支援(花巻:搾乳ロボ他3台、奥州:牛舎1棟、草地等6ha、サイロ5基、一関:機械21台) 乳房炎ワクチンの実証では疾病が減少し、出荷乳量の増加 牧草地の管理省力化のためドローンによる施肥・播種の実証(花巻、3回)、良質な粗飼料を確保するため土壌改良資材の施用指導、キャトルセンターのほ育牛施設的设计・設置指導 広域コントラクター(県農業公社)と地域コントラクターの作業調整や省力的かつ良質な粗飼料確保のための収穫作業技術の指導、白石粗飼料生産組合が設立(遠野、11月) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛20頭以上の経営体数(経営体) 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1537 205 2107 325"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>163</td> <td>167</td> <td>171</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>158</td> <td>164</td> <td>163</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> サポートチームによる飼養管理支援やキャトルセンターの整備により目標は概ね達成となった。 産地の維持拡大に向け、肥育経営の収益性向上や肥育素牛確保、粗飼料生産・供給体制の強化についての支援や、生産性向上のため、牛伝染性リンパ腫感染予防として効果を確認できた分離飼養等の普及啓発に取り組む必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		163	167	171	175	実績	158	164	163	—	—	<ul style="list-style-type: none"> サポートチームの巡回指導等により、ICT技術の導入や飼養管理方式の改善を支援 生産性を阻害する要因(牛伝染性リンパ腫等)の感染防止の体制整備や暑熱ストレス低減のための技術普及による支援 担い手の規模拡大を促進するためキャトルセンターの機能強化や管理技術向上等を支援 公共牧場へのICT技術の普及促進による省力化と管理技術の向上支援
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		163	167	171	175																	
実績	158	164	163	—	—																	
<p>⑤農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進</p>	<p>(1) 農畜産物ブランドの安定的な生産体制づくりとPR活動やブランドの評価向上 ○安定的な生産体制づくりへの支援 ○ブランド化のためのGAP認証の推進</p> <p>(2) 地域資源を活用した6次産業化や起業化支援、産直施設の運営改善や販売拡大支援 ○起業化及び6次産業化支援 ○産直の情報発信や制度改正に伴う対応支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二子さといもの生産拡大に向けた栽培管理指導及び種芋確保のための貯蔵方法の検討支援(温度記録装置5か所設置) 西わらびのGI認証申請手続の助言と栽培現地研修会の開催 優良系統を使った西わらびの商品開発や通販サイト活用支援 稲作・園芸農家、農業高校に対するGAP取得継続及び新規取得に向けた研修会開催や個別指導、水沢農業高校がJGAP取得(穀類) 「奥州ロマン」の栽培マニュアルの更新、長期貯蔵性の調査結果に基づいた出荷端境期(2月～)での販売支援 6次産業化プランナーの派遣による個別指導や個別相談会や6次産業研修会の開催(花巻) 業務用商品の開発・販売のための実需者ニーズ調査 Facebookによる産直の情報発信やイーハトーブログを活用したイベントPR 食品衛生法改正に伴うHACCPに沿った衛生管理の相談対応や研修会の開催 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品開発等の支援による6次産業化件数(件) [累計] 達成 <table border="1" data-bbox="1537 976 2107 1096"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の実績値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> 個別相談会の開催やプランナー等の支援により目標を達成することができた。 今後も農家の所得向上のため、地域資源の活用を促進するとともに、あらかじめ販路を見据えた商品開発を支援する必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3	6	9	12	実績	1	5	14	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化に向け地理的表示保護制度(GI)等を活用した他産地との差別化支援 コロナ収束を見据えたマーケットの拡大と、GAPの認証取得等の促進 地元の食品企業等のニーズに対応した商品開発等の6次産業化の取組支援 食品衛生法改正に伴うHACCPに沿った衛生管理等の取組支援 ※令和2年6月法制定、令和3年6月施行
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		3	6	9	12																	
実績	1	5	14	—	—																	

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度を取組方針																																																						
<p>⑥協働・連携による農村地域の保全・活性化</p>	<p>(1) 「地域ビジョン」の実践支援や、企業や都市住民と農村の協働・連携活動促進、食や農村文化の維持・継承 ○地域ビジョン実践支援及び新規地区掘り起こし ○企業等と地域団体が連携した活性化支援 ○都市住民との交流支援 ○食と農村文化の維持・継承</p> <p>(2) 生産基盤や多面的機能の維持・保全体制の構築や農業水利施設の防災減災対策、鳥獣被害防止の取組 ○日本型直接支払制度の活用による地域の機能維持・保全 ○農業水利施設の防災減災対策の取組 ○農作物の鳥獣被害防止</p>	<p>・「地域ビジョン」の計画作成への助言や収穫祭など地域活性化の取組みを支援する事業の活用支援 ・束稲山麓地域3市町中山間組織活動交流会における助言(12/6) ・首都圏企業と地域団体の連携による遊休農地の活用による地域活性化支援 ※世界農業遺産認定申請：一次審査通過、2次審査不通過 ・簡易宿泊所許可申請の手続きに関する助言や農家民宿経営者等の情報交換会の開催(3回) ・食の匠の動画(DVD)を図書館等への提供、新規「食の匠」認定(奥州、1名)、遠野緑峰高校生への技術伝承(12月、南蛮漬け) ・地域活性化のための事業活用支援と新規対象地区掘り起こしに向けた「農村地域活性化セミナー」を開催(2/9、130名)</p> <p>・多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払交付金事業の円滑かつ適正な実践支援 ・農業水利施設の防災減災対策の円滑な実施や、被害予測条件等の情報提供による防災重点ため池ハザードマップ作成支援 ・県南広域の鳥獣被害に係る情報共有のための「県南地域野生鳥獣被害防止連絡会」の開催(9/9) ・各市町の被害防止計画の見直しへの助言や鳥獣被害防止のための電気さく設置適正利用指導</p>	<p>【指標の状況】 ・地域ビジョンに基づく実践活動実施集落(集落)〔累計〕 概ね達成</p> <table border="1" data-bbox="1537 247 2110 373"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>11</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】 ①農村地域活性化のため対象地域を重点的に支援し、目標は概ね達成となった。 ②地域ビジョンに基づき、活性化に取り組む集落等の掘り起こしと実践の支援をする必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・グリーン・ツーリズム交流人口(千人回) やや遅れ</p> <table border="1" data-bbox="1537 709 2110 835"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>490</td> <td>495</td> <td>500</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>481</td> <td>422</td> <td>311</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行者が減少したことから、目標を下回った。 ②コロナ収束後を見据えた支援を検討する必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・地域共同活動による農地等の保全管理への参加人数(人/年) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1537 1213 2110 1339"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>59,534</td> <td>59,534</td> <td>59,534</td> <td>59,534</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>59,534</td> <td>59,048</td> <td>60,155</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】 ①農業生産基盤である農地・農業用施設の維持・保全に向けた地域協働による実践活動支援により、目標を達成することができた。 ②地域協働による実践活動支援を継続していくことが必要である。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		11	13	15	17	実績	6	10	11	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		490	495	500	505	実績	481	422	311	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		59,534	59,534	59,534	59,534	実績	59,534	59,048	60,155	—	—	<p>・集落が作成する「地域ビジョン」の取組を支援 ・コロナ収束を見据えたグリーン・ツーリズムや農家民宿の取組を支援 ・束稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会の活動を通じた地域の活性化支援</p> <p>・日本型直接支払制度の円滑かつ適正な実践活動支援を継続 ・防災重点ため池の耐震診断、ハザードマップ作成支援及び機能診断結果に基づく補修・更新支援 ・地域ぐるみによる侵入防止柵の設置、わなや一斉捕獲等による総合的な被害防止対策の支援</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		11	13	15	17																																																					
実績	6	10	11	—	—																																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		490	495	500	505																																																					
実績	481	422	311	—	—																																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																					
目標		59,534	59,534	59,534	59,534																																																					
実績	59,534	59,048	60,155	—	—																																																					

圏域の振興施策の基本方向	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域						
重点施策	10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します						
〔基本方向〕 担い手の育成・確保及び先進的な技術の導入や、低コスト林業による森林資源の循環利用を進めるとともに、特用林産物のブランド力の回復と販路拡大に取り組みます。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	指標の動きに対するコメント
木材生産額（百万円）	目標		5,150	5,160	5,180	5,200	集計中（令和4年3月確定見込み） 2019年の実績値は4,837百万円となっています。
	実績	5,120	4,837	集計中	—	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 森林・林業の理解促進やイメージアップによる担い手の育成・確保 ② 森林施業の集約化の促進や情報通信技術（ICT）の導入等による林業経営の効率化 ③ 低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給 ④ 特用林産物の産地再生とブランド力の回復 ⑤ 地域に根ざした特用林産物の生産振興							

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度を取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度を取組方針																		
<p>①森林・林業の理解促進やイメージアップによる担い手の育成・確保</p>	<p>(1) 森林・林業への理解醸成や就労者の確保に努めます。 ○講座や現場体験の実施</p> <p>(2) 知識と技術を備えた現場技術者の育成・確保を支援します。 ○技術研修の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・林業アカデミーオープンキャンパスへの参加 (7/27, 28: 生徒9名、保護者及び教師7名) ・講座や体験等の実施(7/30~12/16: 7校96名) ・林業アカデミー推薦選考合格5名 ・就業支援員(ジョブカフェ花巻駐在)主催の企業見学会に参加(対象:花農1、2年生50名 企業:花巻森組) ・森林教室等(10/14~11/13: 2校4回/一関) ・林業技能者養成研修への参加働きかけ(岩手県林業労働対策基金) ・伐木技術普及研修会を実施(10/9~12/18: 各1回/センター等) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業技能者数(人) [累計] 達成 <table border="1" data-bbox="1498 262 2092 378"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>180</td> <td>190</td> <td>200</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>163</td> <td>190</td> <td>192</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①要望に合わせた講座、体験等の開催、各種研修の実施等により、目標を達成することができた。 ②就労確保のため、学校等の状況に合わせた職業学習等を支援していく必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		180	190	200	210	実績	163	190	192	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・林業アカデミーオープンキャンパスへの参加を支援 ・学校等の希望に合わせた講座・体験会等の開催 ・各種研修情報の提供と参加への働きかけ
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		180	190	200	210																	
実績	163	190	192	—	—																	
<p>②森林施業の集約化の促進や情報通信技術(ICT)の導入等による林業経営の効率化</p>	<p>(1) 「意欲と能力のある林業経営体」の育成・強化 ○施業プランナーの育成 ○機械設備の導入支援 ○経営基盤強化支援</p> <p>(2) 効率的な林業経営のための、森林施業の集約化 ○森林経営計画の作成支援 ○森林経営管理制度に係る市町支援</p> <p>(3) 境界確認や現況調査等の効率化 ○情報通信技術(ICT)等の活用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施業プランナー資格取得に向けた研修の実施(7/16~11/18: 5回/花巻) ・リーディングプランナーと連携した事業体指導(10/28~11/6: 2回/花巻、2/2: 1回/一関) ・高性能林業機械のリース支援2事業体(北上森組、西和賀森組) ・高性能林業機械等導入支援2事業体(有)三栄興業、スズシ物流システム) ・森林組合に対する経営検討委員会等を通じた改善指導の実施(7/31~12/21: 西和賀4回、奥州6回) ・林業事業主改善計画認定支援(12/21: 一関) ・林業事業主改善計画更新支援(花巻) ・育成林業経営体への登録(10/2: 一関) ・意欲と能力のある林業経営体への登録指導(一関) ・新規計画作成指導一関: 2件 291.29ha認定 ・森林整備活動支援交付金の活用指導 ・森林経営計画等説明会(11/12、3/22: 花巻) ・森林経営計画作成資料配付・GISの操作指導(県南) ・制度運用に係る市町幹部職員との意見交換(5/25、8/5: 2回/一関) ・地区対策会議等の開催(6/23、10/1、1/19、3/23: 4回/一関) ・市町担当職員意見交換会(11/12) ・意向調査実施地区及び時期の決定、一部着手3/8~26: 一関市(対象者31名、約45ha) 3/19~26: 平泉町(対象者9名、約5ha) ・GNSS観測別の精度と実用性の比較(10/6~8) ・森林測量調査GNSSシステム普及研修等(11/13~1/13: 4回/県南) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画認定面積(ha) 概ね達成 <table border="1" data-bbox="1498 745 2092 861"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>52,000</td> <td>54,000</td> <td>57,000</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>50,650</td> <td>49,592</td> <td>50,938</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プランナー育成研修やGISの操作研修指導を実施し、集約化や経営効率化を担う人材の育成を図ったことにより、目標は概ね達成となった。 ②資格取得に向けた研修会の開催や施業集約化に向けた意識醸成と併せ、ICT技術の普及により経営の効率化を図る必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		52,000	54,000	57,000	60,000	実績	50,650	49,592	50,938	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画の作成に向け、施業提案が可能となる施業プランナー資格取得に向けた研修会の開催 ・既存事業体への改善指導の実施 ・育成林業経営体の意欲と能力のある林業経営体への育成 ・計画終期を迎えた森林経営計画の更新及び森林経営計画の作成促進に向けた事業体等への指導 ・森林所有者に対する意向調査実施に向けた取組支援と施業提案による施業集約化に向けた意識醸成 ・意向調査に向けた支援及び進捗管理 ・地区対策会議等による情報提供 ・令和3年度の地上レーザ計測に向け、効率的な調査と調査結果の活用について打合せを実施 ・GNSSシステム測量の活用に関する指導
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		52,000	54,000	57,000	60,000																	
実績	50,650	49,592	50,938	—	—																	

具体的 推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度の取組方針																																				
<p>③低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給</p>	<p>(1) 安定供給のため、林業・木材産業等関係者間の情報共有、公共施設や非住宅等への木材利用の促進 ○情報共有 ○公共建築物等整備支援 ○木材供給支援 ○木材利用のPR</p>	<p>・遠野木工団地内における各事業体の定例会等への参加及び経営管理指導(遠野) ・花北地域木材安定供給促進会議(7/9:花巻) ・第1回一関市カスケード利用協議会(7/22:一関) ・岩手県公共施設・公共工事木材利用推進県南広域地方支部会議の開催(10/19:県南) ・木造公共建築物等整備(黒沢尻幼稚園)の助成(国庫) ※令和3年度に繰越 ・林業成長産業化総合対策事業、合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業による搬出間伐の実施 ・いわてヤタイを活用した木材利用PR(10回:花巻) ・地域材を使用した新商品(パーティション)の普及啓発(10/9~11/1:一関)</p>	<p>【指標の状況】 ・再造林面積(ha) 達成</p> <table border="1" data-bbox="1498 247 2092 367"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>180</td> <td>185</td> <td>190</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>176</td> <td>170</td> <td>195</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・県産材供給量(千m³) 集計中</p> <table border="1" data-bbox="1498 472 2092 592"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>508</td> <td>510</td> <td>511</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>506</td> <td>集計中</td> <td>集計中</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		180	185	190	200	実績	176	170	195	-	-		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		508	510	511	513	実績	506	集計中	集計中	-	-	<p>・岩手県産木材等利用促進条例に基づく県産木材等利用促進基本計画の推進 ・木造公共建築物(黒沢尻幼稚園)等整備の進捗管理。(繰越:7月完了予定) ・地元企業と連携した地域材の活用と県民に対する利用機会の創出 ・いわてヤタイのPRと活用促進 ・地域材利用ワークショップの開催 ・おもちゃ美術館出張展示による木育</p>
		現状値	2019	2020	2021	2022																																		
	目標		180	185	190	200																																		
	実績	176	170	195	-	-																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																			
目標		508	510	511	513																																			
実績	506	集計中	集計中	-	-																																			
<p>(2) 低コスト林業のための、一貫作業及び搬出技術等の研修会の開催 ○一貫作業の促進 ○路網整備 ○機械設備の導入支援【再掲】</p>	<p>・一貫作業による再造林支援 30.59ha ・森林整備事業による再造林の支援 164.33ha ・県行造林跡地での再造林の働きかけ(2件:花巻) ・林道開設延長 2,378m ・林業専用道延長 1,239m ・森林作業道延長 37,901m ・高性能林業機械のリース支援 2件(花巻) ・高性能林業機械等導入支援 2件(遠野、県南)</p>	<p>【評価及び今後の取組方向】 ①再造林面積は、施業の集約化等に基づく森林整備事業等の支援により目標を達成することができた。県産材供給量については、国の公表数値をもとに算出しており、例年2年遅れとなっている。(集計中) ②岩手県産木材の利用機会の創出や森林資源の循環利用に向けた基盤整備を進めていく必要がある。</p>	<p>・森林資源の循環利用に向けた再造林の促進と低コスト林業実現のための基盤整備の推進 ・伐採跡地における再造林の働きかけ</p>																																					
<p>(3) 被害材等未利用資源の有効活用の促進 ○樹種転換の促進</p>	<p>・アカマツ100%活用促進事業について、令和3年度実施に向けバイオマス事業者と花巻市森林組合と打合せ(11/27) ・アカマツの広葉樹林化事業実施支援 15.71ha ・特殊地拵 9.33ha ・アカマツ通年伐採検討会(8/21:一関) ・アカマツ等伐採・再造林促進検討会(2/24:一関) ・アカマツ施業現地検討会(2/22:県南)</p>	<p>【評価及び今後の取組方向】 ①アカマツ伐採に関する検討会等の実施により、関係者間で施業や残材の取扱いに関する課題を共有することができた。 ②樹種転換の促進のために、林地残材の有効活用を支援する必要がある。</p>	<p>・枯死木を含めたアカマツの通年利用に向けた検討 ・アカマツ未利用材活用システムの検討</p>																																					
<p>(4) ナラ枯れ被害防止を図るための、伐採・更新(若返り) ○伐採利用の促進</p>	<p>・ナラ枯れ被害調査の実施(9月~11月) ・ナラ林健全化促進事業実施(遠野4.72ha交付決定(繰)) ・ナラ枯れ被害対策連絡会議(3/11:県南) ・ナラ枯れセミナー(3/11:県南)</p>	<p>【評価及び今後の取組方向】 ①ナラ枯れ被害対策連絡会議の開催により、県南地域におけるナラ枯れ被害の状況と対策について情報共有をすることができた。 ②被害拡大を抑制するため、ナラ枯れ被害木の駆除と周辺広葉樹の伐採利用を支援する必要がある。</p>	<p>・ナラ枯被害木の駆除と周辺広葉樹の伐採利用 ・ナラ枯れ被害対策連絡会議等の開催 ・令和3年度の脱出期前の適切な処理に向け駆除等の支援を実施</p>																																					

令和2年度の取組状況・評価及び令和3年度の取組方針

具体的推進方策	取組内容(実施計画)	令和2年度の取組状況	令和2年度の評価及び今後の取組方向	令和3年度の取組方針																		
<p>④ 特用林産物の産地再生とブランドカの回復</p>	<p>(1) 原木しいたけの産地再生を図るため、生産体制の整備や後継者の育成に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出荷制限解除 ○栽培管理指導の実施 ○原木等生産資材の導入支援 <p>(2) ブランドカ回復のため、地元消費に加え、大消費地への出荷・販売量を増やしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元飲食店等への利用・販売促進 ○試食販売会・販路開拓調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・原木しいたけ出荷制限解除 (7/27) 花巻：4名、遠野2名、一関1名(ロット追加含み) ・原木しいたけ産地再生応援隊第1回打合せ会議 (7/20) ・栽培管理指導及び出荷前検査の実施 ・特用林産施設等体制整備事業の実施 原木 96,543本、おが粉468m³、菌床 459,020個 人工ほだ場1棟 ・経営支援資金の貸し付け(一関：14,680,000円) ・原木林再生に向けたモデル林(震災後に萌芽更新または植栽されたクヌギ)の成長量調査及び放射性物質濃度調査(一関：1/20～2/19、旧千厩町2箇所・大東町1箇所) ・地域内原木活用(震災前に成立していたコナラ)に向けた放射性物質濃度調査(一関：11/9～3/2、一関市内12箇所) ・地域内原木のホダ化による子実体の放射性物質濃度調査に向けた植菌・仮伏作業(11/9～2/5、旧大東町2箇所) ・西和賀町産原木活用に向けた収量調査準備(県南) <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット及び販促資材の作成・配付 ・試食販売会の支援 いちのせき秋まつり農業フェスタ(一関：10/31、11/1) ・一関市が市内で実施した販売会に参加(8/29～11/15：4回) ・生産者による販売開拓活動を支援(一関：10月、18店舗訪問中12店舗を新規開拓) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾しいたけ植菌本数(千本) やや遅れ <table border="1" data-bbox="1498 310 2142 432"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>124</td> <td>126</td> <td>129</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>119</td> <td>108</td> <td>95</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①栽培管理の指導や生産資材の導入支援、利用・販売促進を進めてきたが、生産者の高齢化等により、目標を下回った。 ②品質向上・収量増加の為の栽培技術指導とともに、地域内原木の活用に向けた取組を進め、原木しいたけの販売促進を支援していく必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		124	126	129	132	実績	119	108	95	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・春子の解除検査実施を指導 花巻3名、県南2名、一関3名(ロット追加含み) ・種菌メーカー等と協力した品質向上・収量増加のための栽培指導支援 ・貸し付け制度等の利用を生産者に促す(一関) ・地域内原木の活用に向けた調査の実施 ・放射性物質濃度調査(安全の確保) ・西和賀産原木の収量調査(利用可能性) ・子実体の放射性物質濃度及び収量調査 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランドの強化 ・地元イベントにおける原木しいたけの認知度向上 ・学校給食への利用促進
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		124	126	129	132																	
実績	119	108	95	—	—																	
<p>⑤ 地域に根差した特用林産物の生産振興</p>	<p>(1) 新たな産地形成のため、林間畑わさびの栽培や漆林の造成等を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栽培面積確保に向けた講習会等開催 ○巡回指導の実施 ○あじさい園支援 ○新たな漆産地の形成検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・林間畑わさび栽培技術勉強会を開催(遠野) 育苗4/28(23名参加)、播種・採取6/3(21名参加) ・初心者向け林間畑わさび栽培講習会を開催(遠野：6/23、20名参加) ・モデル圃場設置(10/1) ・適地森林調査(11/30) ・県南局内畑わさび生産振興チームWG打合せ会議(12/3) ・生産者への巡回指導を実施(5/18、11/26各4件/遠野) ・林間あじさい等の地域振興に向け、あじさい園のPR活動(都営地下鉄の中吊り広告)を支援(一関) ・あじさい園開園(6/27～7/26)(一関) 過去最多入園者を記録(24,400人) ・県庁生協でのプリザーブドフラワー販売支援(2回：一関) ・いちのせき秋まつり農業フェスタでのプリザーブドフラワー販売支援(2回：一関) ・いわて漆振興実務者連絡会議(7/21：一関) 	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林間畑わさび生産量(トン) 未達成 <table border="1" data-bbox="1498 1312 2142 1434"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>20</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境要因(土壌、気象等)やシカ被害のため、目標を達成することができなかった。 ②栽培指導の強化、県南広域振興圏内の生産者掘り起こし等により、生産量の増に向けて取り組む必要がある。 		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		20	31	38	38	実績	15	21	10	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・県南広域圏内で生産者の掘り起こしを実施 ・講習会開催 ・適地森林調査等 ・生産者巡回指導(シカ被害対策も含む) ・モデル圃場設置 ・遊休ほだ場の活用検討 ・研修会、意見交換会の開催 ・パンフレット作成 ・あじさい園のPR活動を支援 ・漆植栽地の適正な管理について継続指導
	現状値	2019	2020	2021	2022																	
目標		20	31	38	38																	
実績	15	21	10	—	—																	